

平成 28 年度

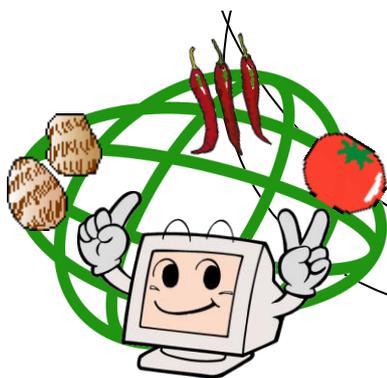
がんばる地域サポート事業 活動事例集



地域の未来を考え、
行動していきたい



地域を支え合うための
新しい組織を立ちあげた



地域の資源をもっと
知ってもらいたい!



みんなが楽しめる
空間を作りたい!

中津川市役所 定住推進部 市民協働課
TEL 66-1111 (内線325)

～ 目次 ～

■絆づくり部門

No.	地区	団体名	事業名	代表者名	ページ
1	中津南	夢絆の会	川上地域活性化事業	奥村 三一	2
2	中津西	中津西地区自主防災研究会	中津西地区自主防災力強化事業	青木 完治	4
3	苗木	苗木城跡を世界に広める会	HPによる苗木城跡の情報発信	水野 直也	6
4	苗木	なえぎ城山レディース	苗木城跡おもてなしマルシェ	加藤 かな子	8
5	苗木	ほっとしょくらぶ	読み聞かせ活動等を核とした、苗木地域のふれあい交流事業	大山 恵子	10
6	坂本	あぶくたったの会	保育園、幼稚園等における絵本の集団読み聞かせ、学校茶道、花壇の整備	田中 孝一	12
7	坂本	若気会	創立50周年地域活性化事業	蜂矢 信男	14
8	坂本	坂本をもっと知ろう会	坂本の文物を地域の皆さんにお知らせする事業	江崎 良彦	16
9	落合	中山道落合姫宿の会	中山道落合宿の観光客おもてなし事業	紺野 みえ	18
10	落合	落合みこし会	落合みこしで地域の活性化事業	多治見 恵二	20
11	落合	下落合お囃子の会	下落合お囃子の保存と伝承事業	尾関 則行	22
12	落合	与坂太鼓保存会	与坂太鼓の保存と伝承事業	高橋 俊明	24
13	落合	御殿山太鼓「男波」	地域行事の活性化と御殿山太鼓の保存と伝承	松原 勇氣	26
14	阿木	楽c k y	元気いっぱいキラキラ輝ける時づくり事業	三宅 奈緒美	28
15	坂下	坂下地区郷土文化財保存会	郷土資料館整備事業	早川 英雄	30
16	川上	紅葉のみち整備実行委員会	紅葉のみち整備事業	小縣 博道	32
17	加子母	どあい自然学校	どあい自然学校	田口 大志	34
18	福岡	付知川ヤングあゆ釣りスクール実行委員会	付知川ヤングあゆ釣りスクール	大山 安彦	36
19	蛭川	ひるかわ元気村	地域の土地・人材の活性と自然栽培の推進による作物・地域の付加価値化	小田 保津美	38
20	蛭川	蛭川ママさん朝市会	地域交流活性化を目的とするイベント事業ひるかわてづくり朝市	玉谷 八重子	40
21	蛭川	もりのて	もりのて～くらしの学校～	後藤 夢見	42
22	蛭川	もち米の会	不耕作地を活用したもち米作り	林 荘司	44

■協働部門

No.	地区	団体名	事業名	代表者	ページ
1		歌とダンスで盛り上がりよう中津川！実行委員会	市民と共に、「なかつがわ」の歌とダンスを作成する	井口 貴博	46
2		落合歴史サークル	歴史文化等地域資源を活用した文化財の魅力発信事業	玉置 克彦	48
3		中津川市自然環境団体等連絡会議	協働で！知ろう、守ろう、育てよう中津川の自然	栗谷本 征二	50

■立ち上げ部門

No.	地区	団体名	事業名	代表者	ページ
1		子野区歴史勉強会	子野区歴史勉強会	原 逸郎	52
2		Viva！中津川	NPO法人格 取得事業	森 俊一	54

平成 28 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	きずなのかい		地域名	21 区		地区
	夢 絆 の 会		会員数	23		人
ふりがな 代表者名	おくむら さんいち		延べ 参加人数 内(会員数)	226 人(112 人)		
	奥 村 三 一					
事業名	がんばる地域サポート					
総事業費 内(補助金額)	202,642 円		実施期間	平成 28 年 4 月 1 日から		
	(200,000 円)			平成 29 年 3 月 10 日まで		
事業 分類	番号	①		活動 分野	番号 ② ③ ④ ⑤ ⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親風に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
<p>この会が、各活動に取り組むことにより、区民がつどい活動を行うことで『地域の和』が生まれ、そして『地域の絆』となり、それを推し進めることにより『地域づくり』に発展し、更なる地域の活性化と発展に寄与することを目的とする。</p>						
具体的活動内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者宅の困りごと相談・解消事業 ・ 子供達とのふれあい事業 ・ 地域の環境整備に関する事業 ・ 農産物の生産・販売に関する事業 ・ かおれ花博の開催 ・ 小農機具の無料点検会 ・ 地域の、景観形成に関する事業 ・ 農産物・山菜の加工販売に関する事業 						
主な活動の流れ						
事業 内容	高齢者宅の困りごと相談・解消事業					
	シャクナゲ園の管理					
	農地不耕作地解消(エゴマ等)					
	胞衣ヒカリ栽培(恵那神社しめ縄用)					
	小農機無料点検会		小農機無料点検会			
	花博開催					
	神社ろうそく作り					
	子供とのふれ合い活動(ホタル増殖)			子供とのふれ合い活動		
	麴・味噌造り					
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は、立ち上げから2年目となり、更に会の活動に地域から期待が高まってきている。 ・ 子供とのふれあい活動においては、ホタルの増殖はカワニナの増殖及び味噌造りは食べるのがたのしみ。 ・ 味噌造りは、好評で半数近い世帯から申し込みがあり大盛況。 						
今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は、地域の住民及び子供達とのふれ合い活動を、多く取り組んで行く方針。 ・ 平成29年度は、保健所の農産加工許可を取得する。 ・ 平成29年度は、農産加工物の貯蔵施設の設置。 ・ 平成29年度から、加工品の販売を行う。 						

活動状況写真等

胞衣コシヒカリ田植え(恵那神社しめ縄用)



高齢者宅松枯れ伐採



不耕作地の草刈り



子供達のホタルの幼虫・カワニナの放流



かおれ花博の開催



東濃一のシャクナゲ園の管理



子供達の味噌造り体験



日照障害木の伐採



平成28年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

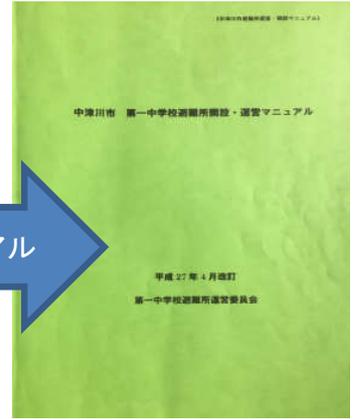
ふりがな 団体名	なかつにしちくじしゅほうさいけんきゅうかい	地域名	中津西	地区	
	中津西地区自主防災研究会	会員数	16 人		
ふりがな 代表者名	あおき かんじ	延べ 参加人数 内(会員 数)	1630 人(145 人)		
	青木 完治				
事業名	中津西地区自主防災力強化 事業				
総事業費 内(補助金額)	213,604 円 (200,000 円)	実施期間	平成 28 年 6 月 1 日から 平成 29 年 2 月 28 日まで		
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	②
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内 容	事業の目的				
	1, 中津西地区自主防災活動の推進				
	2, 自主防災活動の資料及び用具の整備				
	3, 自主防災力の啓蒙・啓発				
	具体的な活動内容				
	1.について ・防災士の育成と支援 ・避難所開設運営訓練への支援と実施				
	2.について ・一中避難所マニュアルの増刷及び各種防災啓発資料の作成と配布・人力運搬車の増設(高齢者・障害者の行動支援)				
	3.について ・DIG(災害図上訓練)及びHUG(避難所運営訓練)研修・各種防災講習会				
	主な活動の流れ				
	研究会	4月～2月まで、毎月第3水曜日に開催(11回実施)			
	資料作成・用具購入	地震資料作成	車イス避難用具購入・配置・活用		防災講話記録作成・配布
	避難所マニュアル作成	印刷製本と配布・活用			
	避難所開設訓練	第1回運営委 班係会	訓練実施	訓練反省	次の方向検討
自主防災講習会		非常食作り	防災マップ作り	第2回運営委 車イス避難具講習	
	4月	6月	8月	10月	
				12月	
				2月	
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)					
1,防災訓練時だけでなく、年間を通して継続的に当地域の各区等で自主防災活動に取り組めた。					
2,当地域防災士が継続的に協議・実践する場を設けると共に、防災士資格取得を応援できた。 反対象区全域に1名の防災士の擁立が出来なかった。(この差をどう縮めるかが今後の課題)					
3,避難所開設訓練の方針「いざという時に役立つ(機能する)！」をめざし、新工夫と準備が進んだ。					
以上3点により、自主防災活動の継続的推進と、自助をめざす防災士等のスキルアップをはかれた。					
今後の展開(自立に向けた活動)					
1,当地域内の指定避難所・福祉避難所・関係専門機関等との協議・連携を更に強める。					
2,防災士不在の区を無く等、自主防災活動への取組みの温度差解消を図る。					
3,避難所開設では、各班・係の実際の動きを想定した訓練や図上訓練で依り充実した活動を目指す。					
以上の3観点から、当地域自主防災力の強化と活動の充実を図る。					

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

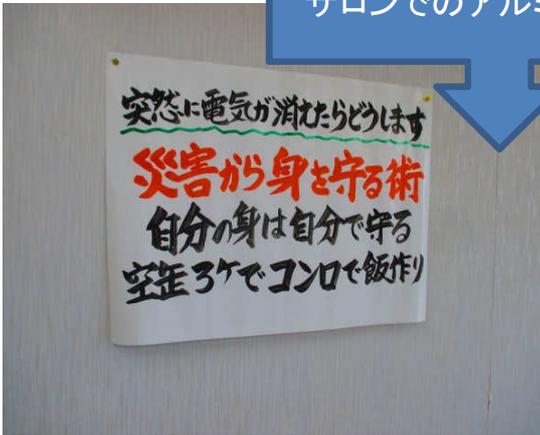


会議風景

避難所運営マニュアル



西ヶ丘区ふれあい
サロンでのアルミ缶講習会



5区通学路ハザードマップ作成



人力の
実演

山手区DIG講習会



平成 28年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なえぎじょうせきをせかいにひろめるかい		地域名	苗木	地区	
	苗木城跡を世界に広める会		会員数	50	人	
ふりがな 代表者名	みずのなおや		延べ 参加人数 内(会員数)	100 人(100 人)		
	水野直也					
事業名	ホームページによる苗木城跡の情報発信					
総事業費 内(補助金額)	207,358 円	(200,000 円)	実施期間	平成 28 年 4 月 1 日から 平成 29 年 3 月 8 日まで		
事業 分類	番号	2		活動 分野	番号	4
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	地元苗木の人達に苗木城跡の良さを再認識し、理解して貰う。					
	具体的な活動内容					
	苗木城跡の撮影及びHPに随時掲載。Facebook活用による情報発信(同名タイトル。苗木区民のファンを増やす(正会員・サポート会員募集)。PCのパワーアップ。あんどん掲示用の写真募集(区民)。手作りあんどん作成(あんどん祭りに出展)。苗木交流センターに手作りあんどん展示。協働・区長会、まち協、城山レデース、市広報他、写真提供等。					
	主な活動の流れ					
		HP用苗木城跡撮影(掲載)随時	→			
		Facebook掲載随時	→			
		苗木の写真募集	会員募集随時	→		
	手作りあんどん作成	展示～継続	→			
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
正会員が10人→17人 サポート会員33人(内メール配信38人)。手作りあんどん見栄え良く、いいものが出来た。..会員のクラウドにお客様(まち協)HP開設された。HPカウンター設置。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
HPの訪問数の増加。サポート会員の継続及び新規の会員募集。クラウドの新規顧客開拓。写真提供、展示等での利益。						

※この様式は活動事例集として編集し自由に変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

HP改善

カウンター

更新情報

訪問数の把握

苗木城(苗木城跡)
Naegi castle (Club spread the Naegi Castle)

訪問: 7310人(91,444PV)
今月訪問: 286人(2,413PV)
前月訪問: 974人(6,978PV)
from 2016

* Menu *

会の情報

過去30日の更新情報

HPのカウンター設置・訪問数・30日更新情報



苗木城跡を世界に広める会 会員募集

中津川市が誇る名城 苗木城跡を盛り上げ、城跡を活かしたまちづくりを一緒にしませんか?

正会員 (若干名)
会の運営に直接携わり、会議・イベント等に参加して下さる方
年会費2,000円 (特別粗品付き)

サポート会員
直接活動はできなくても、資金面で応援して下さい
年会費1,000円 (限定ポストカード2枚付き)

会の成り立ち
名城跡の中でも指折りに入る苗木城跡の魅力を知らない人が多いので、まず地元からその良さを認識、理解してもらい、地元の方で世界へと苗木城跡を発信するために発足しました。

HP: <https://takamecloud.nizunoinfo.com/4DOGI/NAEG/>
Facebook: <https://www.facebook.com/naegicastle/>
Instagram: https://www.instagram.com/naegi_remains_of_castle/
お問い合わせ: 秘書 中津川市苗木 事務所 (青木)
090-2345-0031
aisi10-@ilddocomo.ne.jp

苗木城跡を世界に広める会 申込書

正会員・サポート会員 (どちらかを〇で囲んでください)

お名前:
メールアドレス:
(メールマガジン希望する・希望しない)
住所:
電話:

* Menu *	2016 6月7日 29(会の情報)	2017 2月10日
新着情報	29	40
リニアと苗木城	11	11
夜明けの苗木城	28	77
苗木城跡の石垣と岩	266	304
夕暮の苗木城	59	97
霧の苗木城	137	195
春の苗木城	167	173
夏の苗木城	50	95
秋の苗木城	92	127
冬の苗木城	117	149
苗木城跡のお手洗い	8	8
隣接する桜公園	97	109
中津川市観光スポット	183	183
恵那山の見える風景	61	86
	1305	1654

Facebook 正会員・サポート会員募集

平成28年度
なえぎ通信

なえぎ紹介: 苗木城跡を世界に広める会

当会は苗木城跡の魅力を多くの人に知ってもらうために、美しい写真を中心としたホームページでの情報発信や、ポストカードの製作等の活動をしています。今年のおんどん祭りでは、苗木城跡の写真で作ったおんどんを出す予定です。区民の皆さんからも写真を募集していますので、ご自慢の写真や思い出の写真など、寄ってください。

●応募方法: 写真のデータ+下記メールアドレスへ送付
プリントした写真→苗木事務所へ提出

●問合せ先: 青木 孝義 (代表) 氏: 090-2345-0031

●e-mail: mimicuno@mizunoinfo.com ※7月17日締切



あんどん用の区民からの写真募集



手作りあんどん作成及び展示状況

HP写真掲載枚数



PC・プロジェクター購入



平成28年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なえぎしろやまれいでーす	地域名	苗木	地区
	なえぎ城山レディース	会員数	24	人
ふりがな 代表者名	かとう かなこ	延べ 参加人数 内(会員数)	4550	人(156 人)
	加藤 かな子		4/9, 29=220	5/15=200
事業名	苗木城跡おもてなしマルシェ		6/5, 26=320	7/10, 24=140
			8/14, 16=2100	9/25=230
			10/16=1000	11/3, 27=340
総事業費 内(補助金額)	211,251 円 (200,000 円)	実施期間	平成 28 年 4 月 9 日から 平成 29 年 2 月 28 日まで	

事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		

事業 内容	事業の目的																																																																							
	<p>天空の城ブームで、苗木城跡を訪れる観光バス等が増加していますが中には、ご高齢の方、足に不安のある方々の居場所(休憩場所)がないことから、その近くでお茶の一杯も「おもてなし」をしたらどうか？そして地元朝採りの季節の新鮮野菜、特産品、地元手作りパン、手芸品等で旅の目的の一つ「買う楽しみ」を味わっていただけたらどうか？また会話を楽しみながらの情報交換や苗木城跡のアピール出来るような「おもてなしマルシェ」を実現させたい。</p>																																																																							
	具体的な活動内容																																																																							
	<p>1 来客が多く予想される日に「おもてなしマルシェ」を開催 【例】①遠山史料館無料デー ②JRさわやかウオーキング ③中津ウオーク ④苗木城跡案内ボランティアの予定表から観光バスの台数の多い日などを選択した。</p> <p>2 輪の拡大活動 【例】①苗木地域まちづくり推進協議会産業・観光部会に参入 ②苗木城跡を世界に広める会との意見交換交流会 ③中津商業高校生徒との特産品情報交流会 ④先進地域の情報収集 ⑤同志サポーターの探索 ⑥苗木城跡を活かしたまちづくり講演会での勉強会等</p>																																																																							
	主な活動の流れ																																																																							
	<table border="1"> <tr> <td colspan="12">・ マルシェ開催</td> </tr> <tr> <td></td><td>9.29</td><td>15</td><td>5・26</td><td>10.24</td><td>14.16</td><td>25</td><td>16</td><td>3・27</td><td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="12">・ 研修会・交流会・打合せ</td> </tr> <tr> <td>13・18</td><td>12</td><td>14</td><td>27・29</td><td colspan="3"></td><td>24</td><td>2・8・16</td><td>1</td><td colspan="2">5・14</td> </tr> <tr> <td>3月</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td colspan="2">2月</td> </tr> </table>												・ マルシェ開催													9.29	15	5・26	10.24	14.16	25	16	3・27				・ 研修会・交流会・打合せ												13・18	12	14	27・29				24	2・8・16	1	5・14		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	
	・ マルシェ開催																																																																							
		9.29	15	5・26	10.24	14.16	25	16	3・27																																																															
	・ 研修会・交流会・打合せ																																																																							
	13・18	12	14	27・29				24	2・8・16	1	5・14																																																													
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月																																																														
具体的な活動成果（失敗や苦勞したこともご記入ください。）																																																																								
<p>1 事業の目的「おもてなし」は、成果が出て来たと思う。</p> <p>2 苗木の特産品のPRは出来たが、特産品が少なく商品の確保に苦勞した。</p> <p>3 月2回の開催で販売高を上げようとしたが満足までの成果は出来なかった。</p> <p>4 昨年と比較して大型バスの来場台数が少なく、天候にも恵まれない日が多かった。</p> <p>5 小さな虫(クロバエ)の大量発生により商品の展示に苦勞した。</p> <p>6 苗木地域の行事に参加し、女性の活動出来る場を持つことが出来た。</p> <p>7 オリジナルTシャツを作成し販売しました。</p> <p>8 おじさんサポーターの協力を得ることが出来て良かった。</p> <p>9 恵峰ホームニュースにTシャツの商品紹介記事を掲載して頂きPR出来た。</p>																																																																								
今後の展開(自立に向けた活動)																																																																								
<p>1 観光客への「おもてなし」を第一に考えながら、定期的に行えるような体制づくりを考えてみる。</p> <p>2 苗木城跡(地域)を題材にした特産品・特産物の発案を試みる。</p> <p>3 今後市内全域に輪を広げて特産品等の発掘も考えて行く。</p> <p>4 苗木地域まちづくり推進協議会産業・観光部会に参入</p>																																																																								

※この様式は活動事例集として編集・印刷の作業を必要としない

平成 28 年度活動報告 (写真)



5月 ウォーキング時のおもてなし (五平餅・お茶・コーヒー)



6月 城山跡から帰り一服

6月 バスツアー (3台)



7月 虫が飛び交う中の販売

10月 秋祭り

平成 28 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ほっとしよくらぶ		地域名	苗木	地区	
	ほっとしよくらぶ		会員数	42	人	
ふりがな 代表者名	おおやまけいこ		延べ 参加人数 内(会員数)	2780 人(280 人)		
	大山 恵子					
事業名	読み聞かせ活動等を核とした、苗木地域のふれあい交流事業					
総事業費 内(補助金額)	125,788 円 (100,000 円)		実施期間	平成 28 年 4 月 1 日から 平成 29 年 2 月 28 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
苗木公民館交流スペースの充実と、地域住民相互がにつながる企画や体験活動を行い、本に親しむ機会を広げ、地域の活力を高める。						
具体的な活動内容						
①図書コーナーへの返却本の整理や書架・室内の整頓、図書整備(ブックコート・本の修理等)作業を定例化(月1回) ②読み聞かせ活動の定例化 苗木保育園(月1回)・乳幼児学級ピッコロ(月2回)・苗木小朝の読み聞かせ(年2回)・苗木学童(随時) ③地域の協力を得て、苗木や身近な暮らしをテーマにした企画展を開催(年4回) ④玄関や交流スペースにて季節の飾りつけを実施 ⑤公民館行事への協力(苗木文化交流まつり) ⑥市立図書館と連携をとりながら、図書ボランティア活動のスキルアップのための研修を実施 ⑦他地域のボランティア団体の活動見学と交流(済美図書館・付知公民館・飛騨市NPO法人「思い出の絵本展」) ⑧講師を招き、地域住民も参加できるおはなし会を実施(杉山三四郎さんによる絵本ライブ) ⑨活動の充実を図るため、運営会議を月1回行い、会報やホームページ等で内外に交流スペースや活動の情報を発信						
事業 内容	①②④⑨----->					
	③-1	③-2	③-3	③-4		
	⑥	⑥ ⑦	⑥	⑥ ⑦	⑤ ⑧	
	4月	6月	8月	10月	12月 2月	
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
42人の会員が激減することなく、年代を超えて交流を楽しみつつ、自発的に活動に参加でき、活動内容の向上にも積極的に取り組めた。活動は、会員の喜びになり、地域からも、交流スペースの美化、本を通しての子ども達とのふれあいを喜んでいただき、施設の利用促進と本の貸し出し増加につなげることができた。会として、公民館行事への協力もできた。また、研修や他地域の団体との交流で、それぞれの悩みや優れた点を学んで、会の継続的な運営の在り方、活動のスキルアップや地域への貢献の必要について認識が深まり、今後の地道な活動への意欲が高まった。高齢の会員がHP情報にふれない、仕事を持つ会員との接点が少ない、若い世代への参加呼びかけが不足、高齢者の参加しやすい企画への挑戦等が今後の課題。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
定例化できた活動の継続と質の向上に努める。また、図書利用状況や交流スペースへの要望についてアンケートを実施して住民のニーズを把握し、苗木公民館、社協苗木支部や地域高齢者サロン事業との連携、世代間交流などを企画する。室内展示でも、地域サークルに協力を呼びかけて交流スペースの利用促進を進め、より地域に根付くような活動を前進させる。放課後や休日の中学生利用者が増えており、利用しやすい環境や、本への関心を高める工夫も考える。運営面では、若い世代に会への参加を呼びかけたり、日中仕事を持つ会員との接点を増やすことにも努め、幅広い年代で今後の活動を継続できる基盤を作っていく。月1回の運営会議、会報、HP、地域回覧も継続していく。						

※この様式は活動事例集と同一編集自由なので変更しないでください

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



園児たちと楽しい絵本タイム
読み手も聞き手もわくわく！！



ピッコロでのお手玉交流
かわいい親子とも顔なじみに！



日ごろ磨いた技術を伝授（交流まつり）
「ブックコート体験」コーナー



さんしろう絵本ライブ
地域の方も多数参加のイベント



他地域の図書取り組みを学ぶ



「学校給食一思い出の一品」
苗木小の受賞献立も紹介

平成 28年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	あぶくたつたのかい		地域名	坂本		地区	
	あぶくたつたの会		会員数	9		人	
ふりがな 代表者名	たなか こういち		延べ 参加人数 内(会員数)	3820 人(230 人)			
	田中 孝一			めぐみ保育園 : 読み聞かせ毎月1回 延べ1000名 茶道年間6回 延べ120名 西保育園 : 読み聞かせ 毎月1回 延べ1000名 茶道年間10回200名 坂本さくら 保育園 : 読み聞かせ毎月1回 延べ800名 坂本 保育園 : 読み聞かせ毎月1回 延べ700名			
事業名	保育園、幼稚園における絵本の集団読み聞かせ、学校茶道の指導、花壇の整備		実施期間	平成	28年	4月	1日から
総事業費 内(補助金額)	206,119円 (200,000円)			平成	29年	3月	31日まで
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号			⑨
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的							
①保育園、幼稚園での生活が楽しい思い出として残るように ②一緒にすごした友だちが、いつまでも大切な友だちであるように ③お互いを大切にして思いやりのある子どもに育つように ……そんな事の一助になるように活動しています。							
具体的な活動内容							
・めぐみ保育園 : 2,3歳児用プログラム 4,5歳児プログラムにより毎月1回読み聞かせを実施、5歳児に年間6回茶道を指導 ・西保育園 : 2,3歳児プログラム 4,5歳児プログラムにより毎月1回読み聞かせを実施、5歳児に年間10回茶道を指導 ・坂本さくら保育園 : 1,2,3歳児プログラム 4歳児プログラムにより毎月1回読み聞かせを実施 ・坂本保育園 : 3歳児プログラム 4,5歳児プログラムにより毎月1回読み聞かせを実施 ・上記以外でスポット的に希望する幼保育園で読み聞かせを実施(本年度 南幼稚園、中津川幼稚園) ・希望する保育園に花壇用花苗、鉢植えを提供							
主な活動の流れ							
事業 内容	絵本	4ヶ月前に担当割り振り、2ヶ月前に絵本の選定、著作物利用許可申請、1ヶ月前に絵本の写真を撮影し担当者へ配本、各月…各プログラムにより保育園でお話会を開催					
	茶道	講師1名が保育士数名の協力を得て行儀作法等を教える					
	4月	6月	8月	10月	12月	2月	
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)							
4月から6月にかけてリコーダー奏者(日本の第一人者)と絵本の読み聞かせとをコラボしましたが、これを機に中津川、恵那両図書館から読み聞かせリーダーの方にメンバー参加していただきました。活動キャバが拡大したことにより、前年度3ヶ所の保育園で行っていた絵本の読み聞かせを4ヶ所の保育園で毎月、2ヶ所の幼稚園で希望日に行えることとなりました。茶道の指導は2ヶ所の保育園に留まっていますが、メンバーの講師以外に茶道の先生方の協力を得て、鼓の演奏とともにお茶会を開くまでになりました。ただ、抹茶や菓子類のコスト面がネックになっています。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
メンバーが9名になった事により人的余裕ができました。また、助成金により茶道具やマイク・スピーカー等を揃えたことにより他の幼保育園等から読み聞かせ・茶道の要望があった場合に速やかに対応できるようになりました。また、フェイスブックを立ち上げた事により同様のボランティア活動を行っている他の団体との情報交換が可能となり、更なる内容の充実を図ることが期待できます。今後については、現在の活動状況をしっかり維持して行き、可能性があれば高齢者施設での活動を模索してゆくつもりです。							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



めぐみ保育園(リコーダーとのコラボ読み聞かせ)



西保育園(大型絵本を使った読み聞かせ)



坂本さくら保育園(絵本の読み聞かせ)



坂本保育園(リコーダーとのコラボ読み聞かせ)



めぐみ保育園(茶道の稽古)



西保育園(初釜お茶会)

ふりがな 団体名	わかきかい		地域名	坂本 地区			
	若気会		会員数	99 人			
ふりがな 代表者名	はちや のぶお		延べ 参加人数 内(会員数)	128 人(128 人)			
	蜂矢 信男			打合せ8人×8回=64人(64人) 文集回収・依頼8人×4回=32人(32人) 活動記録の抽出3人×10回=30人(30人) 文集作成(インプット)2人×150H=300H(2人)			
事業名	創立50周年地域活性化事業						
総事業費 内(補助金額)	202,882 円	(200,000 円)	実施期間	平成 28 年 6 月 6 日から 平成 29 年 3 月 31 日まで			
事業 分類	番号	③		活動 分野	番号	⑪	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的						
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の老人会が発足50年を迎えるに当り、先代からの活動状況や現在までの歴史を探り、地域住民に会の歩みを知ってもらう。 ・会の50周年を記念して地域を知り、交流を深めるための文集を作成する。また、新規会員の確保につなげる。 ・地域住民の親睦を図り、健康で生きがいのある地域社会づくり。 						
	具体的な活動内容						
	<ul style="list-style-type: none"> ・活動記録から略年表作成のための抽出、整理 ・編集委員の選出、役割分担 ・編集委員随時編集委員会 ・印刷会社との打合せ 						
	主な活動の流れ						
		●記録からの抽出	→ インプット	→ 文集インプット	→	→	→
		●文集について会 員にお願い	●会の4役にて作 成のための前準備	●編集委員の選出 ●編集委員会	●文集の確認	●冊子の構成、 ページ順序	
			●編集及び役員会	●編集委員及び 役員会	●写真選別	●表紙の選定 ●最終確認	●印刷会社打合せ
		6月	8月	10月	12月	1月	2月
	具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
<ul style="list-style-type: none"> ・先代の老人会発足から記録を略年表として編集し、現会員に活動状況を知ってもらった。 ・文集を集めるのに、どの位協力してくれるか心配したが想像以上に多数の方に協力があつた。 ・文集から各々の思い出、体験等を拝見する事により、各自の思いが伝わってきた。 							
今後の展開(自立に向けた活動)							
<ul style="list-style-type: none"> ・年間活動計画を主に地域の絆づくりに更に前進する。(環境友愛事業、ふれあい交流事業、文化活動事業、健康増進事業等) ・文集を通し現会員への絆づくりの再認識。更には新規会員を確保し、地域住民の親睦を計り、健康で生きがいのある地域社会づくりを行う。 							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



中津川市健康福祉
支援出前講座
平成28年8月26日(金)
ふれあい会館

缶拾い H27年10月15日



缶拾い H27年10月15日



記念誌編集会議
ふれあい会館
平成28年11月19日(土)

役員会
(毎月1回)



平成28年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	さかもとをもっとしろうかい		地域名	坂本		地区
	坂本をもっと知ろう会		会員数	10		人
ふりがな 代表者名	えざき よしひこ		延べ 参加人数 内(会員数)	54		人(54 人)
	江崎 良彦					
事業名	坂本の文物を地域の皆さんにお知らせする事業					
総事業費 内(補助金額)	203,040 円 (200,000 円)		実施期間	平成 28 年 6 月 15 日から 平成 29 年 3 月 28 日まで		
事業 分類	番号	2		活動 分野	番号 10	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	坂本の文物等を地域住民にお知らせし、より深く知ることで郷土を知り、地域愛を育み、コミュニティの発展と強化を目指します。 今年度は坂本地域の字名のいわれや由来を調査し、発表します。 出来れば今年度と、来年度中に全家庭に配布したいと考えております。					
	具体的な活動内容					
	坂本地域の歴史的文物や、各種団体が調査された成果物は内部資料として残されているが地域住民に知られることなく眠っています。 今年度は坂本地域の字名やいわれを調査し、昔の字界図と現在の地域の比較や区割り等の関係を調査し、製本の上、各家庭に配布します。 字名図にある地名をリストアップし、 ①そのいわれや歴史を現地の人に聞き合わせる。 ②資料を探し紐解く。 ③会議の中で周辺の状況等を考え想定する。 ④区長会の協力を得て聞き取りを行う、等の手続きを繰り返し、議論し、結論を得る。					
	主な活動の流れ					
	着手	資料集め	毎月の会合		締め	推敲
		会合(毎月)	区長会でお願い 地域訪問	資料整理 聞取調査	現地調査 聞取調査	→
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
地域の地形や自然由来の字名や生活や、風俗等の由来による字名等、その地に住む人々の生き様や息遣いが聞こえるようで非常に奥の深い調査となりました。ただ、予想以上に知られておらず、また忘れられていることに驚きを禁じ得ませんでした。 実際には不吉であったり、忌み嫌うような文言があったりする事柄をどう扱うか苦慮することがありました。 開発や、最近の構造改善工事等により後になって元来の字名が変えられることの違和感や危機感と、関わる人々の歴史観や倫理観が問われる局面があり、深く考えさせられています。 為政者は歴史に残すべき事柄の重要性和歴史認識をもっと深く心するの必要を感じています。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
狭い範囲での言い伝え等、そこに住む民衆の生活の中に入り込まないと知り得ないような些細な出来事が由来となっている場合があります。 引き続き調査を続行する必要性を強く感じ、安易に書き記す事への恐れさえも感じ、ここから新たな調査が始まるとの意識を強くしています。 今年度の活動を通じ、先人の調査研究された記録や資料の発掘を行い、開示・発表の必要性を強く感じ、来年度以降はその方面の活動も強化する予定です。						

会合の様子



現地調査の様子



ふりがな 団体名	なかせんどうおちあいひめじゅくのかい		地域名	落合		地区			
	中山道落合姫宿の会		会員数	6人					
ふりがな 代表者名	このみえ		延べ 参加人数 内(会員数)	91人(18人)					
	紺野みえ			・鉢植えの準備 45人 ・五宿の打合せ 14人 ・落合宿まつり 32人					
事業名	中山道落合宿の観光客 おもてなし事業		実施期間	平成 28 年 6 月 1 日から 平成 29 年 3 月 24 日まで					
総事業費 内(補助金額)	213,060 円 (200,000 円)								
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号		④		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業				①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他						
事業の目的									
□落合宿の歴史と文化を掘り起こし、訪れる観光客に女性の目線からのおもてなしを磨くことを目的とします。 □中山道落合宿及び史跡中山道の景観環境整備を行うことで地域の活性化を図ります。 □本陣の公有化に伴い、中山道落合宿の歴史と文化の保存伝承により観光客へのPRを図ります。 □会員の拡大と会員相互の親睦を図ります。									
具体的な活動内容									
□中山道の町を花・暖簾・のぼりで飾り、さわやかな景観環境づくりを行います。 □中山道ウォーク(中山道落合宿まつり)のイベントに参加し、女性らしいおもてなしを行います。 □中山道五宿姫宿の会と連携し、より中山道の活性化を図ります。 □三五沢から山中までの日本家屋(できるだけ格子の家)の玄関に、藍染のれんをかける。特に屋号、字名を入れる事。 □落合宿「小さな美術館」を考えて行動していく。									
主な活動の流れ									
事業 内容	・がんサポ申請 ・恵那駅前五宿の 展示(のれん、T シャツ)	・五宿会 議 ・がんサ ポ審査 会	・落合宿の暖簾を かける屋号、字名 の調査 ・中学校花壇作成 打合せ ・五宿会議	・中学校花壇作り ・坂下畑づくり、苗 植え ・五宿会議	・五宿会 議	・菊の手 入れ	・滋賀県暖簾作成 ・菊鉢植えかえ ・アイロンかけ ・のぼりたて	・落合宿まつ りで金つば、 抹茶ふるま い ・暖簾片付け	・五宿会議
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)									
□中山道五宿姫宿の会として連携し情報交換、交流会等でこの会の活動につなげる事ができました。 □中山道落合宿まつりは最高の天気で大盛況、3年目にしてうれしい忙しさでした。金つば、抹茶のふるまいを行い、予想以上のお客様が来て下さりお客様の笑顔を見て、会の活動に自信を持つことができました。 □ぎふ17宿体験プログラムに落合宿藍染め体験会を開催し落合宿のイメージアップに貢献しました。 □若い人につなぐ意味と落合の住民に関心を持ってもらうということを目的に、中学校の花壇に菊を植えました。									
今後の展開(自立に向けた活動)									
□本陣の修繕完成までには、中津川宿の境から馬籠宿の境まで、花飾りなど景観環境整備を統一する活動を目指していきたくと考えています。 □落合宿ならではのおもてなしを企画実施していく中で、今後の活動の自立に向けて、運営資金を得る仕組みづくりを考えていきたくと思います。 □私たち自身が楽しく活動をすることにより、会員の拡大とサポート会員の登録を計画します。 □まちづくり推進協議会と連携しながら、本陣の地元管理の受け皿づくりを検討していきます。 □若い人を巻き込み、新しい風を吹きこんで活性化につなげていきたくと計画しています。 □中山道五宿の活動が更に進化しつつあるので、それに合せて活動していく事を計画しています。 □1、2・3、4、6、7、10、11号区の中山道つながりを計画、地道な活動を継続していきたく。									

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

■ 中山道鉢植え配付



■ 落合中学校花壇づくり



■ 藍染のれん・旗作成



■ 落合宿まつり金つば・抹茶ふるまい



ふりがな 団体名	おちあみこしかい		地域名	落合		地区	
	落合みこし会		会員数	34		人	
ふりがな 代表者名	かいちょう たじみ けんじ		延べ 参加人数 内(会員数)	150 人(110 人)	
	会長 多治見 憲二			・みこし作成		70名	
事業名	落合みこしで地域の活性化事業		・おいでん祭		80名		
総事業費 内(補助金額)	449,962 円 (200,000 円)		実施期間	平成 28 年 6 月 1 日から 平成 29 年 3 月 24 日まで			
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号		⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的						
	<input type="checkbox"/> 落合みこしを「おいでん祭」に参加させることにより、落合地域の魅力を地区内外にPRし、地域の活性化に貢献します。 <input type="checkbox"/> 落合みこしの整備・補修を行います。 <input type="checkbox"/> 「おいでん祭」へ唯一の地域みこしとして参加します。 <input type="checkbox"/> 落合地域のPR活動に寄与します。 <input type="checkbox"/> 楽しくみこしを担いでいくことを継承していくために、会員相互間の交流と親睦の充実を図ります。						
	具体的な活動内容						
	<input type="checkbox"/> 地域貢献度の検証 <input type="checkbox"/> 恒久的活動方法の検証 <input type="checkbox"/> 落合みこしの作成・修繕・改修 <input type="checkbox"/> おいでん祭への参加 <input type="checkbox"/> 若手会員の増員を図るためのPR活動 <input type="checkbox"/> 会員相互間の交流と親睦の充実 <input type="checkbox"/> 新協力者の拡張						
	主な活動の流れ						
		・がんサポ申請 ・総会	・みこし点検 ・打合せ(3回) ・みこし一部修復 ・おいでん祭実行委員会 ・備品購入	・みこし作成 ・落合地区巡回 ・おいでん祭参加	・反省会	・成人式PR	・来年度使用部品(竹)の調達 ・がんサポ報告会
		4月	6月	8月	10月	1月	2月
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
	<input type="checkbox"/> 総会にて本年度の方向性を地域活性化に貢献する事を確認。 <input type="checkbox"/> 多くの花などを新しくしたので、より華やかとなった。 <input type="checkbox"/> 毎年参加して頂ける方と、新しく参加して頂いた方々の交流ができた。 <input type="checkbox"/> 成人式にてみこしのPRを行い、若者参加拡大を図る。 <input type="checkbox"/> 花みこしの方向性を確認し早めの準備ができた。						
	今後の展開(自立に向けた活動)						
<input type="checkbox"/> 恒久的なみこし製作と担ぎ手確保を図る。 <input type="checkbox"/> 「落合みこし」を切口に地区の活性を志すメンバーの拡大を図る。 <input type="checkbox"/> 地域の後援を頂ける様、働きかける。							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

■みこし作成



■みこし点検



■おいでん祭参加



平成28年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	しもおちあいおはやしのかい		地域名	落合		地区	
	下落合お囃子の会		会員数	18		人	
ふりがな 代表者名	おぜき のりゆき		延べ 参加人数 内(会員数)	266 人(231 人)			
	尾関 則行			・妙見神社 15人 ・白山神社祭 15人 ・付知狭合宿 25人 ・落合宿まつり 15人 ・公民館まつり 15人 ・その他181			
事業名	下落合お囃子の保存と伝承事業						
総事業費 内(補助金額)	225,338 円 (200,000 円)		実施期間	平成 28 年 6 月 平成 29 年 3 月		1 日から 24 日まで	
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号 ⑩		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業 内容	事業の目的						
	5号区には白山神社があり、その祀り事の際、約40年以上前には区民の方が生演奏にてお囃子をされており、当時はトラックの荷台に乗り落合中を練り歩きながらお祭りを盛り上げていました。最近では当時演奏された方々もいなくなり、このままでは完全にお囃子が忘れ去られ再現する事が困難な状況となります。この会の設立は区民の希望で発足し、また学生の参加を呼びかけると共に、年齢を問わずコミュニケーションができるようにし、先祖代々からの伝統を後世に残す事を目的とする。						
	具体的な活動内容						
	白山神社・妙見神社での奉納や祭典の盛り上げ等を主としますが、演奏者の(小学生等)希望もあり、落合地区における行事(落合宿まつり等)にも積極的に参加し、演奏の継承及び地域のコミュニケーションを図りつつ後世に伝承する。 毎月第三日曜日 午後7時より練習 ・行事前約2か月前から毎週日曜日 午後7時より練習						
	主な活動の流れ						
	4/10白山神社 奉納演奏	第三日曜日 午後7時練習	10/10交流会 付知狭キャン プ場にて合宿	第三日曜日 午後7時練習 11/6落合宿祭り で演奏披露	1/29公民館 まつりに向け 練習	2/12公民館 まつりにて演奏 毎週日曜日 練習	3/19妙見神社 演奏披露 白山神社奉納に向け 毎週日曜日練習
	4月	5月～9月	10月	11月～12月	1月	2月	3月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)							
お囃子は主に笛と締太鼓のみで演奏していましたが、観客から迫力が無いとか音が小さいとかの評価があり、今回の助成金にて太鼓と鈴を増やしお囃子を一層盛り上げ、参加者も気楽に入会できるようにしています。苦労は中学生も数人いるため全員揃っての練習や本番での演奏がなかなかできないができる限り参加してくれています。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
全国のお囃子を聞き、自分たちでできる演奏をしていく。今後は楽器を増やし演奏の楽曲も増やしていきたい。中学生や高校生になっても演奏に参加しやすい会にし、新たな演奏者を増やし伝統とまるようなくみをつくる他、地域に溶け込んだ会となるよう努めます。							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

白山神社お囃子奉納演奏



白山神社祭 踊りの曲演奏



妙見神社祭にて演奏



衣装確認と練習風景



キャンプ場にて合宿練習



落合宿祭りにて演奏披露



平成28年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	よぎかたいこぼぞんかい		地域名	落合		地区		
	与坂太鼓保存会		会員数	33		人		
ふりがな 代表者名	たかはし としあき		延べ 参加人数 内(会員数)	836		人(836 人)		
	高橋 俊明			<ul style="list-style-type: none"> ・太鼓、笛練習 574人 ・白山神社祭典 23人 ・落合ふるさと祭り 25人 ・落合敬老会 23人 ・どれみ慰問 14人 ・落合宿まつり 21人 		<ul style="list-style-type: none"> ・八幡神社祭典 26人 ・落合芸能文化祭 18人 ・広済寮慰問 16人 ・瀬戸の里、ふくろうの杜慰問 45人 ・その他交流会、会議等 51人 		
事業名	与坂太鼓の保存と伝承			実施期間		平成 28 年 6 月 1 日から 平成 29 年 3 月 24 日まで		
総事業費 内(補助金額)	375,900 円 (200,000 円)							
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号	⑩		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業				①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業 内容	事業の目的							
	20年以上前から6号区地区の子供を対象に「与坂子供太鼓」として活動していたが、少子化等により参加する子供が減少してしまった。このままでは伝統文化の伝承が困難になると考え、平成26年9月に「与坂太鼓保存会」に名称を改め、6号区以外の子供の参加を可能として、「与坂太鼓」の保存、伝承を目指す。							
	具体的な活動内容							
	<input type="checkbox"/> 毎週金曜日、6号区お稲荷にて60～90分の太鼓練習を実施。 <input type="checkbox"/> 落合地区内の各お祭り等に積極的に参加して、太鼓演奏する事により地域の方と交流を深め、活性化を図る。 <input type="checkbox"/> 落合地区文化団体連合会に加入して、他団体との交流を深める。							
	主な活動の流れ							
	・白山神社祭典	・落合ふるさと祭り	・落合地区敬老会	・八幡神社祭典 ・落合芸能文化祭	・中山道落合宿まつり ・広済寮慰問	・瀬戸の里、ふくろうの杜慰問 ・どれみ慰問	・公民館祭り	・稲荷神社祭典
	4月	7月	9月	10月	11月	12月	2月	3月
	具体的な活動成果（失敗や苦勞したこともご記入ください。）							
	毎週の太鼓練習では親御さんの参加も増えて、子供との掛合え的な新曲が出来上がったことを嬉しく思います。本年度も落合ふるさと祭りをはじめ、多くのイベントに参加できました。また今期初めて落合地区外の介護施設への慰問演奏を実施、他地区の方に本保存会の活動を知っていただくとともに、交流ができました。							
	今後の展開(自立に向けた活動)							
<input type="checkbox"/> 少子化による太鼓演奏者減少回避のため、会員の拡大。 <input type="checkbox"/> 落合地区内のお祭り等への積極的な参加を行い、地域の方との交流を深め、落合地区全体の活性化を図る。 <input type="checkbox"/> 練習成果の発表の場として、落合地区外の活動を行う。 <input type="checkbox"/> ばち等の消耗品の補充。								

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）

■ 毎週の練習風景



■ 落合ふるさとまつり



■ 落合地区敬老会



■ 八幡神社例大祭



■ どれみ慰問



■ 落合公民館まつり



平成28年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ごてんやまだいこ だんぱ		地域名	落合		地区	
	御殿山太鼓「男波」		会員数	15		人	
ふりがな 代表者名	まつばら ゆうき		延べ 参加人数 内(会員数)	145		人(145 人)	
	松原 勇気			<ul style="list-style-type: none"> ・ぼんてん祭15人 ・八幡神社 15人 ・地元芸能祭 19人 ・公民館祭り 14人 ・ふるさと祭り 15人 		<ul style="list-style-type: none"> ・文化連発表会 14人 ・中山道落合宿祭り 15人 ・バザー 20人 ・津島神社 13人 ・草刈 5人 	
事業名	御殿山太鼓保存と各イベントの協力		実施期間	平成 28 年 6 月 1 日から 平成 29 年 3 月 24 日まで			
総事業費 内(補助金額)	385,428 円 (200,000 円)						
事業分類	番号	②		活動分野	番号 ⑩		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			活動分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業内容	事業の目的						
	御殿山太鼓の伝承と保存を基に地域文化の発展に貢献することを目的とする。 太鼓での参加以外でも積極的に地域行事に協力する。 「男性だけの太鼓」とは別に、女性太鼓や子供太鼓の立ち上げを視野に会員の拡大を計る。						
	具体的な活動内容						
	<input type="checkbox"/> 週に一度の練習 <input type="checkbox"/> 女性、子供の募集 <input type="checkbox"/> 落合ふるさと祭り、バザー協力 <input type="checkbox"/> 各イベントや落合川清掃への参加			<input type="checkbox"/> 新曲の作調 <input type="checkbox"/> 文化連の参加と協力			
	・がんサポ審査会	・津島神社祭典	・落合ふるさと祭り ・バザー出店	・八幡神社祭典 ・文化連発表会 ・地元芸能祭	・中山道落合宿祭り	・公民館祭り	・ぼんてん祭
	5月	7月	8月	10月	11月	2月	3月
	具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）						
	<input type="checkbox"/> 太鼓、チャパ等の購入により、新たな気持ちで練習やイベントに参加する事が出来ています。新曲の作調にもとりかかっています。 <input type="checkbox"/> 新メンバー(子供、女性を含め)募集中です。 <input type="checkbox"/> 白山神社祭典に参加予定(みこしにも全面協力)						
	今後の展開(自立に向けた活動)						
	<input type="checkbox"/> ハッピーの購入 <input type="checkbox"/> ホラ貝の購入 <input type="checkbox"/> メンバーの募集(子供5名、女性5名が目標) <input type="checkbox"/> 行事等への協力と参加は今まで通り積極的に。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

■ 新太鼓を使って初練習



■ 練習は週に一度8号区公会堂にて



■ 購入して頂いたチャパ



■ 津島神社祭典



■ 中山道落合宿まつり



■ 落合ふるさとまつり



ふりがな 団体名	らつきい 楽cky	地域名	阿木	地区	
		会員数	40	人	
ふりがな 代表者名	みやけ なおみ 三宅 奈緒美	延べ 参加人数 内(会員数)	718 人(40 人)		
事業名	元気いっぱいキラキラ輝ける時づくり 事業				
総事業費 内(補助金額)	200,000 円 (200,000 円)	実施期間	平成 28 年 6 月 10 日から 平成 29 年 3 月 8 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的					
<ul style="list-style-type: none"> ・会員、特に子供達に活動を通じ、規則マナーを守ることの大切さ、自主性を持つこと、自信を持ち自己表現することができるように取り組んでいく。 ・全会員の大人と子供が1つのことに取り組み、絆を深める。 ・市内外の祭りやイベントに参加し、阿木をPRする。 					
具体的な活動内容					
<ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日、阿木高校体育館での練習 ・阿木内外のイベントに参加し、イベントを盛り上げる事により、集客確保につなげ、また阿木の名前をPRする ・12月3日の阿木文化祭にて、今年度のがんばる地域サポート事業を使って作曲・振付をした初のオリジナル曲「ムラサキ☆シキブ」(村に咲く四季の舞、村に来て四季を舞うという意味)を初披露。その後、12月18日の瑞浪バサラカーニバルでも「ムラサキ☆シキブ」を披露した。 					
主な活動の流れ					
事業 内容	イ 参 ベ ン ト し た	4/2豊川さんの祭 5/4明智ちよっとおんさい祭り 6/5明智朝市ライブ 7/23駒場納涼祭 7/30老人福祉施設シクラメン 夏祭り	8/7六斎中津川踊り「和」参 加 8/13おいでん祭中津川踊り 「和」参加 8/14阿木夏祭り 8/20阿木川湖サマーフェス ティバル 8/20中部クリニック夏祭り	9/19阿木敬老会 10/16阿木区民運動会 10/30中津川菓子祭り 11/20阿木大いちょう祭り 11/23安岐そば食べてはなそー 会 11/27安岐そばシクラメン祭り	12/3阿木総合文化祭 12/18瑞浪バサラカーニバル 1/14焼き芋交流会(老人福祉施 設シクラメンにて)
					基本毎週金曜日19時～ 20時半練習
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)					
<ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベントに参加する事により、楽cky=阿木の認知度も昨年以上に上がった。 ・新たに恵那方面のイベントにも初めて参加することで、阿木をPRする事ができた。 ・鳴子おどり関係の横のつながりができ、イベントに呼ばれるまたは阿木のイベントに呼び、一緒に交流できた。 ・阿木の特色をたくさん盛り込んだオリジナル演舞曲を作成した事により、メンバーのやる気向上につながった。 ・地域の阿木特産営農さんの呼びかけによりさつまいもの苗つけ・芋ほり、お祭りでの焼き芋販売、特別養護老人ホームシクラメンでの焼き芋交流などを今年度も一緒に行い、地域の人との交流ができた。 ・「慣れ」がでてしまい、練習に集中できない時があった。 ・メンバーの他の習い事等の用事の重複により、イベント参加人数が思うように伸びない時があった。 					
今後の展開(自立に向けた活動)					
<ul style="list-style-type: none"> ・鳴子踊りを通じて、子供からお年寄りまで楽しく体を動かし、練習やイベント参加により、家族や地域のつながりを深めていき、阿木から元気を発信していく。 ・市内・市外のイベントに積極的に参加し、阿木をPRしていく。 ・阿木地域、東濃地域の各団体とのつながりを強化していき、活動の範囲を広めていく。 ・見ている人が一緒に踊りたくなるような、目に留まるような演舞ができるよう踊りの練習により一層力を入れていく。 ・新規メンバー獲得に努力していく。 					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



4月2日 豊川さんのお祭り



5月4日 明智ちよっとおんさい祭り



7月23日 駒場納涼祭



8月20日 阿木川湖サマーフェスティバル



11月20日 大いちょう祭り



11月23日 安岐そば食べてはなそ一会
(社協阿木支部:ひとり暮らし高齢者食事交流事業)



12月3日 阿木総合文化祭
オリジナル曲「ムラサキ☆シキブ」初披露



12月18日 瑞浪バサラカーニバル

平成28年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	さかしたちきょうどぶんかざいほぞんかい		地域名	坂下 地区		
	坂下地区郷土文化財保存会		会員数	28 人		
ふりがな 代表者名	はやかわひでお		延べ 参加人数 内(会員数)	379 人(379 人)		
	早川 英雄			4月 21人、5月 19人、6月 33人、 7月 30人、8月 17人、9月 21人 10月 23人、11月 65人、12月 58人 1, 2月 92人		
事業名	郷土資料館整備事業					
総事業費 内(補助金額)	212,214 円	(200,000 円)	実施期間	平成 28 年 4 月 1 日から 平成 29 年 2 月 28 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に眠る郷土の古民具、埋蔵文化財、書籍等を集め、郷土資料の喪失を防ぐと共に保存を行う。 2. 集めた郷土資料の修復、分類により地域住民に向けて展示が行えるようにする。 3. 資料館オープンイベントを開催し、周知及び住民の見学促進を図る。 						
具体的な活動内容						
3年目の活動						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 資料館オープン事業 埋蔵文化財保存室は分かりやすい展示パネルの作成並びに掲示方法を工夫する。古民具はテーマを決め展示を工夫する。看板は資料室の名称を決め作業に取りかかる。先駆的な博物館、資料館の見学。オープンイベントとその案内、今後の資料館運営をどのようにするか関係機関と相談する。 2. 郷土文化財保存会アピール活動。やさか公民館講座坂下歴史散歩案内、小学校との連携、さかしたタイムズへの記事投稿など。 3. 保存資料の目録づくりは粘り強く継続する。 						
主な活動の流れ						
事業 内容	資料室名称 確定	飯田市上郷 考古博物館	古民具展示 見通し付く	看板完成 展示パネルの作製 に追われる。	開催の 最終チェック イベント 開催	見学には当番 制で立ち会う 学習会を始める
	小学校6年生 見学	見学	分担作業 捗らず焦る	イベント準備		小学3年生見学
	4, 5月	6, 7月	8, 9月	10, 11月	12月	1, 2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 4月資料館の名称を「上野・坂下ふるさと歴史資料館 柵蔵」と定めオープンへ向けての心構えができた。 2. 5, 6月は作業を役割分担し展示の工夫を話し合うがまとまらず作業は思うように進まない。 3. 7月飯田市上郷考古博物館を見学した。展示の工夫についての考え方を共有できるようになった。 4. 8, 9月作業を分担して行うも捗らず焦りを感じる。11月開館を考えていたが12月へ延期することにした。 5. 10, 11月作業は全員で一一つを済まして行くことにした。進捗状況は良くなり12月開館の見通しが付いた。 6. 11月準備中の資料館を中津川市の担当者が訪れ坂下総合事務所長と相談し市の資料館であると認定した。 						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 資料館運営について工夫する。 2. 展示作業を通して内容への興味が増し学習会をの声があがった。早速展示品について学習会を開始した。発展させて行きたい。 3. 地区民向けの坂下地区歴史散歩、坂下地区歴史学習会等も考える。 4. 事業PR。坂下タイムズを利用して活動状況報告、資料寄付の呼び掛け、会員募集等工夫する。 5. 目録づくりを粘り強く継続する。 						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



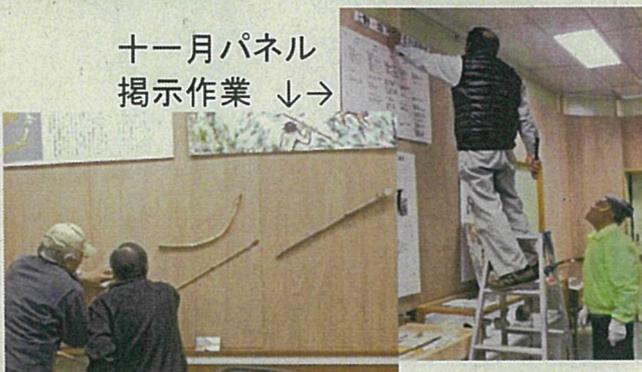
← 六月古民具展示 1



← 九月古民具展示 2



← 六月展示パネルの相談



十一月パネル
掲示作業 ↓→



← 七月飯田上郷博物館見学



← 十二月作業の合間



← 八月展示
パネル製作



← オープンイベント

↓ 九月展示ケース掃除



↓ 完成した埋蔵文化財展示室



平成28年度 **がんばる地域サポート事業** 事業実績報告書

ふりがな 団体名	こうようのみちせいびじっこういんかい 紅葉のみち整備実行委員会		地域名	川上地区									
			会員数	9人									
ふりがな 代表者名	おがた ひろみち 小縣 博道		延べ 参加人数 内(会員数)	127人(17人)									
事業名	紅葉のみち整備事業			夕森遊歩道環境整備 114人(4人) 登山道整備作業 7人(7人) 川上滝丸木橋整備 6人(6人)									
総事業費 内(補助金額)	334,784 円 (200,000 円)		実施期間	平成28年5月22日から 平成29年2月 3日まで									
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号		③ ④						
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流										
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育										
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業				⑩文化・生涯学習 ⑪その他									
事業 内容	事業の目的												
	川上地域づくり計画の基本方針の一つ「自然を守り、美しいかわうえをつくります」及び、計画の骨子「全村公園化の推進」を具現し、川上を訪れるウォーカーやトレッカーが、安全で快適に自然を満喫してもらうとともに、観光産業の振興、住民の誇れる地域づくりを目的とする。												
	具体的な活動内容												
	紅葉のみち整備実行委員会で現地調査、計画策定 5月22日 夕森公園遊歩道の景観整備作業 8月7日 川上滝丸木橋整備作業 9月25日 夕森公園遊歩道の景観整備作業及び登山道の修繕作業 (委託事業)登山道鎖場修繕、川上滝石柱整備、川上滝周辺障害木伐採												
	主な活動の流れ												
		現地調査			川上滝 障害木 伐採	遊歩道 環境整 備							
	実行委 員会開 催	遊歩道 環境整 備		川上滝 石柱整 備	川上滝 丸木橋 整備	登山道 整備							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)												
	マルヤマグループが企業の森として川上地区の森林づくりに参画することになり、秋の作業にはグループ社員69名の参加があり、今後も連携して景観整備を推進していきたい。												
今後の展開(自立に向けた活動)													
次年度も紅葉のみち整備実行委員会が計画を立て実行していく。人手のいる作業については、住民の参加を求め本事業を推進する。													

活動状況写真等 (6枚程度添付)

秋の作業集合状況



登山道修繕作業



登山道看板設置



川上滝障害木伐採



石柱整備



障害木伐採後 川上滝



丸木橋整備作業



丸木橋完成



ふりがな 団体名	どあいしぜんがっこう		地域名	加 子 母		地区
	どあい自然学校		会員数	10		人
ふりがな 代表者名	たぐち ひろし		延べ 参加人数 内(会員数)	52		人(10 人)
	田 口 大 志					
事業名	どあい自然学校					
総事業費 内(補助金額)	242,000 円 (200,000 円)		実施期間	平成 28 年 6 月 1 日から 平成 28 年 12 月 31 日まで		
事業 分類	番号	②	活 動 分 野	番号	④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業の目的						
<p>生活が便利になる一方で自然との触れ合いが減り、自然体験が不足しがちな子供達に「どあい自然学校」で自然体験を通して人間本来の「生きる力」にもう一度気付いてもらおうと自然教育の場を提供したい。火を起こして調理して片付ける、道具を手づくりして使いこなす自然学習・体験工作・野外体験を通して、すべて自分の手と頭を使って行う自然学校を開校する。また渡合エリアを活用し、リニア開通後や濃飛縦断自動車道開通後の「地域おこし」につながるように、またそこで雇用もうまれるように「どあい自然学校」の体験活動を開発し多くの住民が活用できるようにしたい。</p>						
具体的な活動内容						
<p>①ナイフを使用したマイ箸作り。②野外で手を汚さずハンバーグを作り、竹筒を利用してハンバーグを焼き、作ったマイ箸で食事をとる。③渡合の川で、ゴムチューブを使用した川下りや魚釣り・魚つかみ体験。④渡合から御嶽山の見える白巣峠まで行き、御嶽山を眺めながら「けいちゃん」を食す。⑤渡合の夜を散策し、ランプの灯りで夜を過ごしたり、星空観察を行う。⑥神宮備林を散策。⑦渡合から木曾越峠への散策</p>						
主な活動の流れ						
事 業 内 容	←イベントの計画・周知→					
	← イベント の 実 施 →					
	←イベントの報告・結果PR→					
	←次年度に向け課題出し・計画→					
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果（失敗や苦勞したこともご記入ください。）						
<p>加子母の地域の親子に参加していただき、多くの方が初めて渡合エリアに来たとの事がまず良かった。親子参加のイベントで、親子で道具を使用した体験工作・野外体験は好評であった。多くの参加者に対しスタッフが不足し、親の協力によって助かったが今後スタッフの確保・育成が課題である。別のイベントでは、渡合周辺での散策を行い、特に普段入れない「神宮備林」は、特別感があり喜ばれた。野外でのけいちゃんの食事も好評。夜の星空観察も、周辺の灯りが無い渡合とあって、満天の星空に参加者も感動していた。もっと地域の参加者に期待したが参加も少なく、募集活動が課題と感じた。</p>						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>活動を早い段階から計画し、周知・募集を行っていききたい。また今年度の活動風景写真を利用し、楽しい場所である・行ってみたいと思ってもらえるチラシ・周知をしたい。またネットを活用した渡合エリア・自然学校の活動のPRができるとうい。またPRのための季節ごとの写真なども確保したい。イベント内容も充実させたいが、何より少人数の受け入れには対応しやすいが、人数が多い場合のスタッフ不足に対応できるよう、スタッフの確保・育成も行なっていききたい。また渡合エリアまでのアクセスも課題となっており、イベント募集の際の課題ともなっているため、長期的に検討が必要である。</p>						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



親子でナイフを使ってマイ箸作り



ハンバーグを焼く、竹筒作り



自分達で作ったハンバーグを竹筒に入れる



竹筒でハンバーグを焼く



友達と川下り体験



記念写真

平成 28 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	つけちがわやんぐあゆつりすくーるじっこういんかい		地域名	福岡	地区	
	付知川ヤングあゆ釣りスクール実行委員会		会員数	10	人	
ふりがな 代表者名	おおやま やすひこ		延べ 参加人数 内(会員数)	413 人(20 人)		
	大山 安彦			・付知川ヤングあゆ釣りスクール 生徒14名、講師14名、会員10名 ・ます釣り大会 参加者約370名、会員10名		
事業名	付知川ヤングあゆ釣りスクール		実施期間	平成 28 年 5 月 25 日から 平成 29 年 2 月 13 日まで		
総事業費 内(補助金額)	183,494 円	(160,000 円)				
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号 ③		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	あゆ掛けを含めたいろいろな魚釣りにチャレンジすることにより、大自然から学べる摂理や厳しさを友達と体験し、挑戦者としてがまん強さや何事にも耐え忍ぶ力を会得し、よき友達をつくる。					
	具体的な活動内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の開催 ・7月26日(火)付知川ヤングあゆ釣りスクール実施(生徒14名) ・スクール終了後、付知川の清掃活動を実施 ・8月7日(日)ふくおかふるさと祭りに合わせます釣り大会を実施(約370名参加) 					
	主な活動の流れ					
		実行委員会	生徒募集			
			ヤングあゆ釣りスクール			
				ます釣り大会	反省会	反省会
		4月	6月	8月	10月	12月 2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)					
あゆ釣りスクールをはじめ、3年継続参加者は、竿さばきからあゆのいそうな所などを講師と会話ができるようになった。あゆが釣れたときタモへ入れる業も少しであるが習得することが出来るようになった。後はあゆが掛かるまでの忍耐力や我慢強さを習得できれば上出来である。環境への配慮として釣りを終えたとき、周囲を綺麗にしてごみを拾い集め持ち帰った。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
地域の人たちの協力と、学校と一体となり地域の子どもたちを、守り育てていくことが重要であるが、大切な友達と楽しい思い出を作り、仲間づくりへと発展させていく。釣り道具については業者からの全面的な協力があればこそ達成できるものであり、生徒の合った釣り道具の調達も考え、鮎釣り名人の育成を図る。開催時期が夏休みであるが、中学生の部活のため参加者が少ないので一考を要する。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



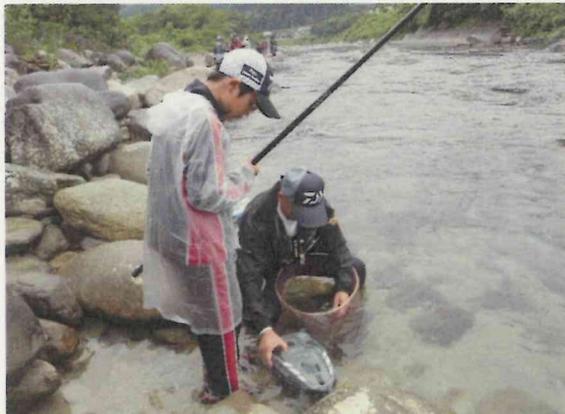
付知川ヤングあゆ釣りスクール 講師・生徒記念写真



滑り止めの「わらじ」を装着



もうじき掛かるぞ！



ほら、掛かった！



講師からDVDをでの指導



講師から終了証を受け取りました



ます釣り大会の様子

平成28年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ひるかわげんきむら		地域名	蛭川 地区	
	ひるかわ元気村		会員数	12 人	
ふりがな 代表者名	おだ ほづみ		延べ 参加人数 内(会員数)	参加者: 64 人(23 人)	
	小田 保津美			※主催イベント:①えなか、②そば打ち、③歌舞伎 ④元旦マラソン、⑤味噌づくり会、⑥座談会 (各種作業等への会員延べ参加人数) ※出店イベント等への来場者数は不明	
事業名	がんばる地域サポート事業		実施期間	平成 28 年 5 月 25 日から 平成 29 年 3 月 22 日まで	
総事業費 内(補助金額)	416,950 円 (200,000 円)				
事業 分類	番号	③		番号	③ ④ ⑤ ⑦ ⑪
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的				
	<ul style="list-style-type: none"> ●蛭川地域の住民・土地・流通環境の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・蛭川在住者(高齢者等)の生甲斐・コミュニケーションの向上 ・蛭川産農産物・加工品等のブランド化、無農薬・自然栽培の理解者拡大と栽培・自家採種の推進 ・遊休地等の利活用 ・人口増(移住者支援、バーチャル村民登録によるひるかわファンの拡大と情報発信) ・・・「人にやさしい 地球にやさしい 無農薬・自然栽培の里 ”ひるかわ”」の推進・PR ... 				
	具体的な活動内容				
	<ul style="list-style-type: none"> ●安心・安全な農作物「自然栽培」の推進による地域イメージアップと生産品のブランド化 <ul style="list-style-type: none"> ①無農薬による農作物の栽培と加工品の販売 ⇒ ひるかわ元気村「茹で落花生」「自家製味噌」「ピリ辛味噌」等 ②各種イベントへの出店等による活動のPR ⇒ 歌舞伎、えなかプログラム参画、元旦マラソン等 ③他の団体・個人農家の落花生栽培委託による栽培量の拡大(協力者:1団体・3農家) ④「無農薬・無肥料・自然栽培」座談会・現場指導の開催(3月) ●移住希望者支援 ... 空家探しと借用交渉、移住後の交流(現在の空家探し件数:3軒) ●他の団体等との交流 ... わくわく組合への参画、市主催交流会等参加、えなかプログラムの開催(11月) 				
	主な活動の流れ				
	栽培・加工 出店等 主催イベント等 参加・協賛	・落花生、大豆、秋野菜等の栽培 ・自然栽培座談会 (3/26-27)	◎活動MTG(年7回開催)	・収穫、加工、販売 ・そば打ち会(9/11) ・えなかプログラム(11/16)	・味噌づくり会(2/11) ・元旦マラソン ・地域づくり交流会(2/19) ・市団体交流会(2/24)
	3月	5月	7月	9月	12月 2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)				
	<ul style="list-style-type: none"> ●「茹で落花生」の栽培委託を前年より農家2軒増えたが、収穫稼働が増えてしまい元気村栽培分に手がまわらず、鳥獣類の被害もあって収穫ゼロとなってしまった。 ●ひるかわ元気村栽培野菜等の種は固定種に限定し、自然栽培の実践とともに自家採種に向けた学習と実践を始めた。 ●前年3月開催の「自然栽培座談会」には約40名に参加頂いたが、蛭川地区在住者が少なかった。次回の開催では地元在住者にもっと声を掛け、現場指導をさらに充実する。 ●借りた畑は肥料が入り過ぎていて予定の作物が栽培できず、代替え野菜も育ちが悪かった。 				
	今後の展開(自立に向けた活動)				
<ul style="list-style-type: none"> ●「無農薬・自然栽培」に興味がある方・団体との交流を深め、実践と理解者の拡大を図る。また、自家採種により蛭川産固定種の確保と生産者への提供を目指す。 ⇒ ”人にやさしい 地球にやさしい 無農薬・自然栽培の里 ひるかわ”の実現・PRを推進する。 ●茹で落花生のほか自家製味噌等加工品の素材を地元調達に向けて、生産者の協力拡大を図る。また、生産作物の販売ルートを確立して安定した収益と栽培・収穫・加工の拡大を図る。 ●「ひるかわ元気村オリジナル自然米酒」の製造・販売に向けて、自然栽培による酒米20俵の収穫を目指す。 					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

【落花生の栽培から加工まで】

■自然栽培だから草取りも大変ですが、この努力が安全で美味しい落花生の収穫に繋がります。



■そば打ち会 9月11日 楽しく、美味しくいただきました。2回目は・・・



■恒例の味噌づくり会 2月11日



【熊田 浩生さんを招いて自然栽培座談会と現場指導】

■自然栽培座談会開催 3月26日 周辺地域からも興味を持っている方に多数参加していただきました。



■現場指導会 3月27日 ...土(場)の状態、田んぼを掘るタイミング等色々なことが学べる機会でした。



■農業機械用車庫を建てたことで、雨や日差しの心配が軽減！



平成 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ひろかわ あさいちかい	地域名	蛭川 地区	
	蛭川 ママさん 朝市会	会員数	12人	
ふりがな 代表者名	たまたに やえこ	延べ 参加人数 内(会員数)	600人(12人)	
	玉、谷 ハ重子			
事業名	てづくりひろかわ朝市の イベント開催			
総事業費 内(補助金額)	円 (100,000 円)	実施期間	平成 28年 5月 25日から 平成 29年 3月 24日まで	
事業 分類	番号	③	番号	⑩
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他		

事業の目的

てづくりのものを通して、世代を超えた地域の交流と
蛭川の地域を良さをたくさんの人に知ってもらうこと

具体的な活動内容

年に3回のイベント「てづくりひろかわ朝市」を開催する
てづくりの体験講座の開催。

主な活動の流れ

イベント準備 5/15 第7回 てづくり朝市 開催	イベント準備 7/9 てづくり体験 講座	イベント準備 9/4 第8回 朝市開催	イベント準備 11/20 第9回 朝市開催	総反省会 12/3 てづくり体験 講座	イベント準備 (来年度の年間 計画など)
4月	6月	8月	10月	12月	2月

具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)

- ・9/4に開催したイベントでは、音楽とダンスのイベントも同時開催しお互いに集客もでき相乗効果がありました。蛭川外の方にもたくさん来ていただきました。
(音楽イベントは同じ会場で、にぎやかでよかったことと、音が大きすぎてゆっくり歩いたりできなかったのでは無いかと感じます)
- ・7月と12月にてづくりのワークショップを行いました。なかなかいい機会と楽しかったのが人集めに苦労しました)

今後の展開(自立に向けた活動)

イベントも3年経ってだいぶ定着しましたが、スタッフの生活環境もかわり、準備 イベント前日・当日の人員不足が問題となってしまいました。長く続けるためには無理のない準備や企画運営、そして何より地域のイベントとして定着してきたからこそ、地域のいろいろな団体の方々の連携、協力が必要だと考えています。
どんな方たちでも良いので、地域の方にこのイベントを利用していただき更に地域の活性化に

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください(つなぐが望みます)

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



殿塚 伊藤さんのケシゴムハンコのワークショップ



手づくり体験講座 — 糸まんだら
朝市で出店している方に講師として、愛知県より来ていただきました。



音楽ダンスイベントと同時開催、蛭川内外からたくさんの来場があり、大盛況でした。



9月イベントの来場者の様子(会場内)

元蛭小の先生による科学実験教室、子供達も興味津々。



朝市特製 夏野菜カレー



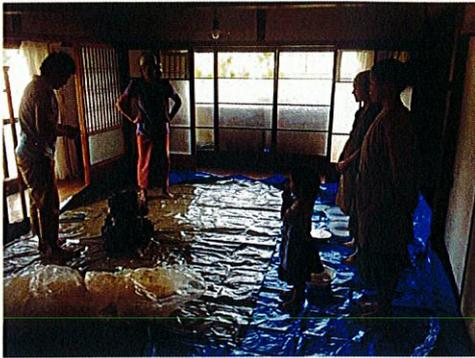
クラブ「薬研」 — 毎回参加していただき、イベントを盛り上げていただいています。



マルヨシ、ひとつばたごなど地域の方々の出店。

ふりがな 団体名			地域名	桐田 地区		
	モリにて		会員数	16 人		
ふりがな 代表者名	ニとう やすみ		延べ 参加人数 内(会員数)	64 人(26 人)		
	後藤 夢見					
事業名	モリにてーくらしの学校ー					
総事業費 内(補助金額)	227,903 円 (200,000 円)		実施期間	平成 28 年 5 月 26 日から 平成 年 月 日まで		
事業 分類	番号	①		活動 分野	番号 ③⑤⑥⑨	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的						
<p>①自然・学校開放による若者への里山暮らしの知恵の伝承。 ②里山暮らしの魅力を伝えるターナー者を増やし、里山人口増加を推進。 ③休耕田、放棄地、その他、竹林、山林の整備と土地利用の向上を図る。 ④農業体験を通じ、農業従事者の育成を図る。 ⑤自然と人のつながりを深め、心地よい循環を再生する。</p>						
具体的な活動内容						
<p>・縄文式土器づくり、竹林伐採、その場にあるものを活かした小屋づくりなど、かつての暮らしが、 そうであったように、暮らし、そのものが教育であり、自然環境の整備であり人と人とのつながり 深めるという、かつての「結」のシステムのような、多面的機能を果たしたイベントの開催。 ・また、現代においては、自然環境自体が「かつての」に代わって、新しい形の「環境改善作業」 と自然体験として学ぶのから、楽しく活動(大地の再生ワークショップ、自然農法園地ワークショップ) あり。</p>						
主な活動の流れ						
事業 内容	5/26 縄文式土器づくり	7/7 竹林整備と 竹炭焼き	8/19, 20, 21 おもしろエフエフ 小屋づくり	11/6 縄文式土器づくり (火入れ)	3/2 自然農法園地 ワークショップ	
	5/28 大地の再生 ワークショップ	8/28 大地の再生 ワークショップ	9/9 大地の再生 ワークショップ		3/ 小屋づくり(屋根ふき)	
	4月	6月	8月	10月	12月	
					2月	
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
<p>各イベント、参加者は、少人数ではあるが、皆、共に作業することを楽しみ、何かを学ぶとして持ち帰り、 くれた。活動の拠点の一つである森に小屋もでき、自宅まわりや火田の環境改善も進んだ。 ただ、イベントの参加者にもともと、蛭川に住んでいる方が少なかった。その理由としては、イベントの 告知方法、告知の遅れや意識の差などが考えられる。今後の課題を;</p>						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>昨年、一年間の活動が、ついに、東海地区を中心に、ワークショップの依頼と、頂け ようになった。経済的な部分においては、その活動を継続し、蛭川での活動として、小屋をつくらせた イベントに、子供達が自然の中で自由に遊べるイベントをいっしょに、共同で定期的に開催していく(予定) モリにて(自宅)での活動は、暮らしのベース、学ぶのベースとして、これまでも、変わらぬ、継続して いく。</p>						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



←縄文式土器焼きワークショップ

昔は、土器を焼くこともコミュニティーでやる仕事のひとつでした。

作るだけじゃなくて、使えるものを。

半年乾かし、窯ではなく落ちていた枝葉で

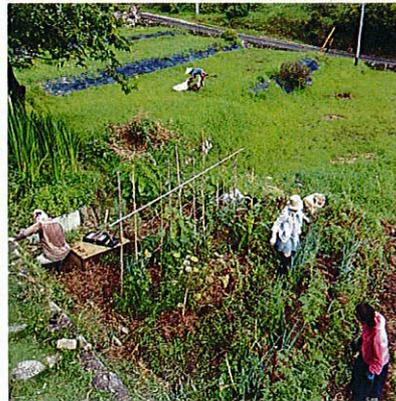
野焼きします。みんなでわいわい楽しく、森もきれいになり、

一石何鳥？暮らしの一部として積み重ねていきたいです。



↓大地の再生ワークショップ

僕らの身体に、呼吸と血流があるように、大地には、空気（風）と水が流れています。空気は止まると澱み、水は止まると腐ります。自然を観察しながら、自然に学び、空気と水の流れを再生することで、植物や、人、生き物たちが住みよい空間づくりをしています。



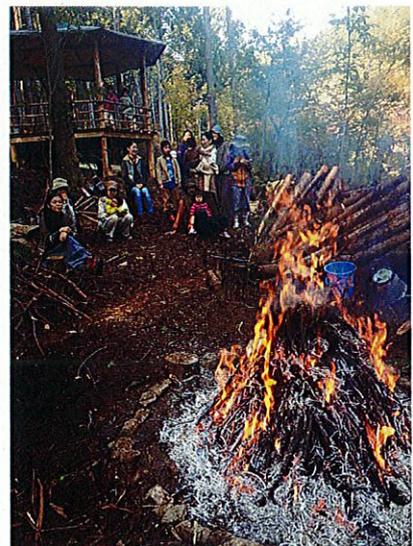
↑竹林で炭焼き。

荒れてしまった竹林、ただ切るだけではコストもかかりモチベーションも上がりません。風の通り道を整備する竹の切り方で竹林に風を通し、その場で炭焼きをして農業資材などに使える炭を焼きました。一時間半ほどで出来上がります。

↓あるものでつくる小屋づくり。

山納さんによる小屋づくりワーク。3日間で子供たちの遊び場のベースを作りました。とても面白く、家づくりというよりも

工作の延長！小屋をつくるイメージが楽しいものになりました。



縄文式土器焼き
(火入れ) →

ふりがな 団体名	もちごめのかい もち米の会		地域名	蛭川 地区																								
ふりがな 代表者名	はやし しょう じ 林 莊 司		会員数	4 人																								
事業名	不耕作地を活用したもち米作り		延べ 参加人数 内(会員数)	320 人(86 人)																								
総事業費 内(補助金額)	97,526 円 (50,000 円)			実施期間	平成 28 年 4 月 1 日から 平成 29 年 2 月 27 日まで																							
事業 分類	番号	①		番号	③ ④ ⑤ ⑩																							
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流																								
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育																								
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他																										
事業 内 容	事業の目的																											
	<p>蛭川下沢地域も農業者の高齢化と後継者不足から、圃場の不耕作地が増えて来ました。不耕作地解消で地域の絆づくりと環境整備の推進を目的とする。地域の人々の集まる機会を活用し、取り組み事業の主旨啓発を行い地域づくりとして推進する。</p>																											
	具体的な活動内容																											
	<p>不耕作地解消の為、地権者から圃場を借り受け「もち米」作りを有志で行う。年間を通して圃場の管理(草刈等)を行う。地域の人々の集まる機会を活用し事業主旨を啓発する。</p>																											
	主な活動の流れ																											
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="3">○もち米育成及び収穫活動実施</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">○地域の人々の集まる機会での主旨啓発実施</td> </tr> <tr> <td colspan="6">○年間を通しての圃場管理(環境整備)</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>6月</td> <td>8月</td> <td>10月</td> <td>12月</td> <td>2月</td> </tr> </table>					○もち米育成及び収穫活動実施								○地域の人々の集まる機会での主旨啓発実施				○年間を通しての圃場管理(環境整備)						4月	6月	8月	10月	12月
○もち米育成及び収穫活動実施																												
		○地域の人々の集まる機会での主旨啓発実施																										
○年間を通しての圃場管理(環境整備)																												
4月	6月	8月	10月	12月	2月																							
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)																												
<p>(活動成果)①下沢地区の中心地で不耕作地であった圃場が新緑の圃場と成り環境保全も出来た。②難しい啓発事業も恵峰ホームニュースの取材、掲載を頂きそれぞれに伝えられた。(苦勞)①長く不耕作地の為、もち米づくりでの圃場・水管理が大変だった。②予定収穫量が無く会員のボランティア精神で経費等賄った。</p>																												
今後の展開(自立に向けた活動)																												
<p>それぞれの地域で不耕作地が今後も農業従事者の高齢化等により多く成って行く事と思われませんが、不耕作地は病害虫・害獣の温床とも成り、地域環境保全からも何らかの手法で解消しなくては成らないと考えます、小さな一歩ですがこの様な取り組みが全域で始めれば地域環境が保全され「住んで良かった、住みたい中津川市」に繋がればボランティア精神で推進したい。</p>																												

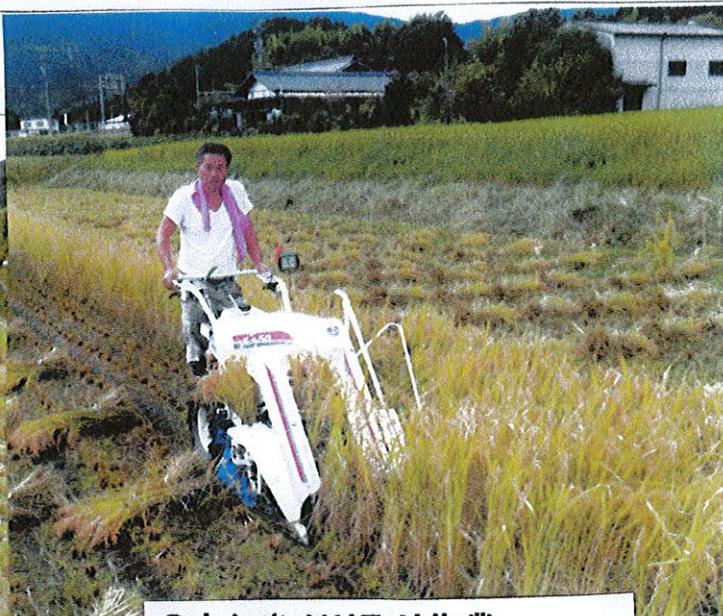
※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



○ハザ掛け作業

・実施日 平成28年9月27日

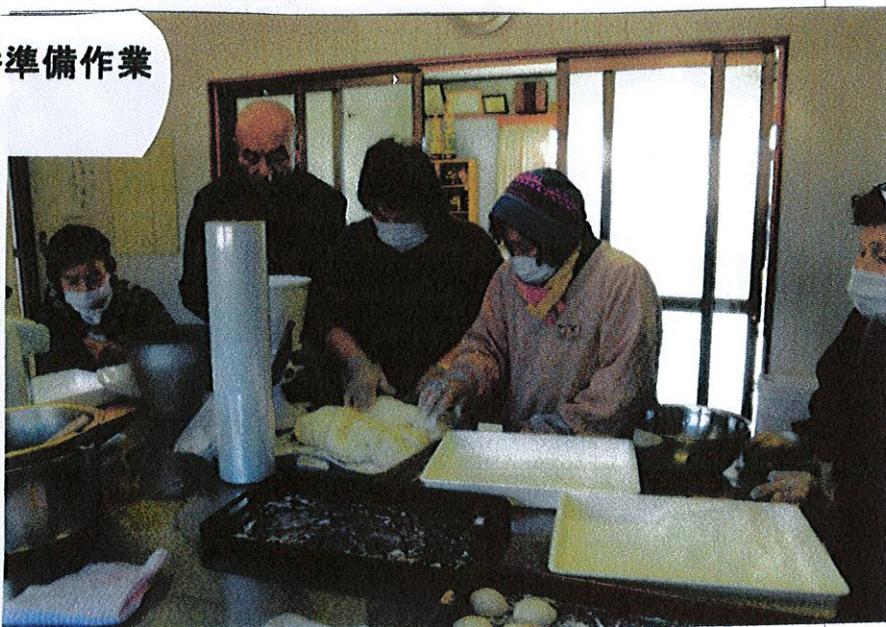


○もち米刈り取り作業

・実施日 平成28年9月27日

○左義長にてのPR用投げ餅準備作業

・実施日 平成29年1月7日



○役員会議・打ち合わせ

・実施日 4/1、6/20、7/31、9/10、11/1、
11/21、12/5、2/25、

平成28年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	うたとだんすでもりあがろうなかつがわじっこういんかい 歌とダンスで盛り上がる中津川！実行委員会	地域名	地区
ふりがな 代表者名	いぐち たかひろ 井口 貴博	会員数	20 人
事業名	歌とダンスで盛り上がる中津川 ～新しい時代を感じる歌とダンスを中津川に！～	延べ 参加人数 内(会員数)	4841 人(20 人) 歌詞フレーズ参加者:3885人、個人協賛者:217人、協賛企業:89事業所、協賛団体:5団体、お披露目会参加者:600人、中津川少年少女合唱団:20人、保育園・幼稚園の先生:25人
総事業費 内(補助金額)	1,291,274 円 (300,000 円)	実施期間	平成 28 年 5 月 24 日から 平成 29 年 3 月 25 日まで
事業 分類	番号 ② ①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業	活動 分野	番号 ⑩ ①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他

事業の目的

中津川市民が地域に愛着と誇りを持ち、地域の魅力を発信できるようになっていただく

具体的な活動内容

・市民と共に、中津川市の子どもから大人まで親しめる中津川オリジナルの歌とダンス「中津川ソング」を作り、これを市民に広める事により、市民が地域に愛着や誇りを持ち、地域の魅力を発信できる事を目指し、活動に取り組みました。

【取組み】

- ①「中津川ソング」を作成するため、延べ17回の会議を行い、市民や企業から広く協賛金を募った。協賛者には、「中津川ソング」のCDを配付します。
- ②多くの市民に関わってもらうため、フレーズ募集のチラシ、ポスターを作成し、市内の小中学校を中心にフレーズ募集を行いました。
- ③市民から募集したフレーズを基に中津川市に縁のある絵本作家の村上康成さんに作詞を依頼し、NHK番組「おかあさんといっしょ」等に楽曲を提供している創作あそび作家の谷口國博さんに作曲を依頼し、「中津川ソング」を制作しました。
- ④実行委員会メンバーにて、「中津川ソング」のダンスの振り付けを行いました。
- ⑤「中津川ソング」の普及のため、CDを作成し、配付します。
- ⑥「中津川ソング」の普及のため、市内保育園、幼稚園の先生有志がダンスを習得しました。
- ⑦未来の中津川市を担う保育園児、幼稚園児とその保護者を招待してお披露目会を行いました。

主な活動の流れ



事業内容

具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)

- ・中津川市全域の実行委員を募った事で、市内全域に活動を広める事ができ、市民、企業等多くの賛同者から協賛金を集める事ができました。(個人99人 49,500円、法人等94事業所 879,000円・・・平成29年2月13日現在)
- ・市内すべての小中学校に「中津川ソング」の歌詞フレーズ募集チラシを配付し、その結果小中学校を中心に3,885点の歌詞フレーズの応募がありました。
- ・3,885点のフレーズの応募を実行委員会で集計し、村上氏に資料として提供しました。
- ・応募のあった歌詞フレーズを基に、郷土の自然や名物など中津川の魅力が詰まった「中津川ソング」が完成しました。
- ・「中津川ソング」を広く普及させるため、保育園、幼稚園児とその保護者を対象にお披露目会を行い、約600人が参加しました。(平成29年2月5日(日)中津川文化会館ホールにて)
- ・お披露目会は、谷口國博氏(たにぞうさん)の伴奏により、中津川少年少女合唱団がうたを歌い、保育園、幼稚園の先生有志が躍り、最後は子ども達も舞台上がって一体となって「中津川ソング」を楽しむ事ができました。

【失敗や苦労した点】

- ・フェイスブック、ホームページを作成し、活動を広く周知する事ができたが、歌詞フレーズの募集に繋がらなかったため、市内イベントでも活動内容やフレーズ募集の周知を行った方が良かったです。
- ・歌詞フレーズ募集について、全生徒から協力していただけた学校とそうでない学校もあり、周知や募集に工夫が必要と感じました。
- ・お披露目会は無料とし、入場チケットを約900枚事前配付したが、当日は、雨天やインフルエンザの流行などが影響し、300人程度の不参加がありました。
- ・「中津川ソング」の完成が予定より遅れた事により、CDの制作、配付が遅れております。(これから実行委員会メンバーにて持参し、協賛者や幼稚園、保育園、小学校、中学校へ配付予定)

今後の展開(自立に向けた活動)

- ・協賛者へのCDの配付、市内保育園、幼稚園、小学校、中学校等へのCDの配付を行います。
- ・各地区の夏まつりや運動会等の市内各種イベントで披露していただきます。
- ・10～20年後、市民・市出身者の誰もが市内外で歌い踊る事ができるよう普及活動を行い、中津川の魅力発信(シティセールス)、郷土愛(シビックプライド)に繋げていきます。

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真



会議の様子



リハーサルの様子



会場の子供たち



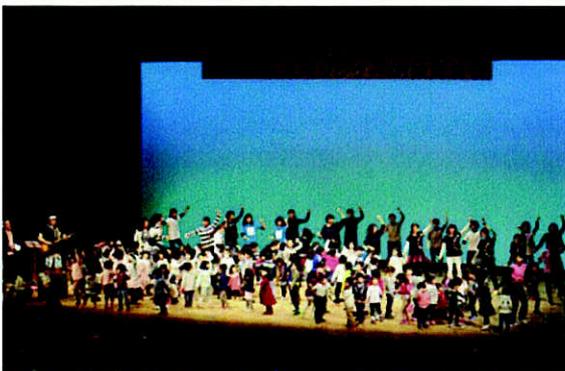
客席の様子



絵本読み聞かせの様子



お披露目の様子 その1



お披露目の様子 その2



スタッフ集合写真

ふりがな 団体名	おちあいきしきさーくる		地域名	落合	地区	
	落合歴史サークル		会員数	13	人	
ふりがな 代表者名	たまき かつひこ		延べ 参加人数 内(会員数)	159 人(159 人)		
	玉置 克彦			・現地視察・調査・資料収集7回 延べ人数38人 ・編集委員会16回 延べ人数121人		
事業名	歴史文化等地域資源を活用した文化財の魅力発信事業		実施期間	平成 28 年 6 月 1 日から 平成 29 年 3 月 20 日まで		
総事業費 内(補助金額)	310,777 円 (300,000 円)					
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号		⑩
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的						
<p>中津川市は街道文化が栄えたまちとして、東山道や中山道などの沿線には歴史的文化財が多数存在し、これらの文化財や周辺の自然環境とともに保存していくことが中津川市の魅力をより引き立てることになります。そのため、街道文化に由来する歴史的建造物である落合宿本陣などの歴史文化遺産の保存整備及び管理に取り組むとともに、市内外に向けて中津川市の文化財である落合宿本陣の魅力発信を行います。</p>						
具体的な活動内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・本陣の現地調査と本陣に残る歴史資料を掘り起こします。 ・情報発信のために落合宿本陣のガイドブックを作成します。 ・誰でもボランティアガイドのため郷土資料の掘り起こしを行います。 						
主な活動の流れ						
事業 内容						
	4月	6月	8月	10月	12月	2月 3月
具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）						
<ul style="list-style-type: none"> ・本陣の現地調査や編集委員会では文化振興課の熊崎学芸員と意見交換しながら、史実に忠実なガイドブックを作成することが出来た。 ・本陣当主井口家に残された歴史的資料がまだ整理の途中であり、そこから資料を探し出し、編集作業をしていくことに、かなりのエネルギーを費やした。 ・現地調査7回、編集委員会は16回の開催に上り、会員の意識向上と会の団結力が強まった。 						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>中津川市総合計画(H27～H38)の基本理念の一つに「人々がかがやくまち中津川」があり、その政策のうち「歴史文化に魅力のあるまち」が記載されている。具体的には前期4年間の方針として「中山道落合宿本陣の保存整備事業を継続的に行います。観光部局と連携して、観光資源としての文化財の効果的なPRを行います。」【文化振興課】と記載されている。本会としても、一日でも早い本陣の公開へ協力するとともに、歴史文化遺産としての落合宿本陣の魅力を市内外にPRしていく活動に積極的に取り組んでいく。①落合宿本陣の公開等に備え、管理運営の方法に協力する。②ボランティアガイド等の養成に資料の提供等で協力する。</p>						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

落合宿本陣現地勉強会



本陣の現地視察



正門の測量



本陣の現地調査



「本陣」編集委員会



「本陣」の冊子



平成 28 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なかつがわしぜんかんきょうだんたいとうれんらくかいぎ		地域名	市内全域	地区
	中津川市自然環境団体等連絡会議		会員数	150	人
ふりがな 代表者名	くりやもとせいじ		延べ 参加人数 内(会員数)	1750 人(270 人)	
	栗谷本 征二			木育	850
事業名	協働で知ろう守ろう育てよう中津川の自然		河川	800	(90)
			植物	100	(60)
総事業費 内(補助金額)	306,306 円 (300,000 円)		実施期間	平成 28 年 6 月 1 日から 平成 29 年 3 月 30 日まで	
事業 分類	番号	① ② ③	活動 分野	番号	③⑤⑥⑨⑩
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業				⑩文化・生涯学習 ⑪その他	
事業の目的					
2016～2025 第三次中津川市環境基本計画における ①自然共生地域づくり……(守る、保全、調べる、活かす) 2.環境保全に向けた人づくり……(仕組みづくり、環境教育、学習の推進) 等の基本方針を行政と協働展開する					
具体的な活動内容					
環境教育学習……木育 幼保9、学童1、PTA母親3、公開講座6、他6 (企業、団体、メーカー) ……河川 小学校14、公開講座3 (釣り、公民館) ……植物 シデコブシ調査6、公開講座2 ・オオヤマレンゲ、ササユリ 神坂地区民、森林管理署行政、モンベル					
主な活動の流れ					
事業 内容	役員会				
	木育				
	河川				
	植物				
	4月	6月	8月	10月	12月 2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)					
<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容に示す通りですが 1. ゆっくりではあるが口こみで活動が理解され輪が広がりがつつある ・活動方法見直しによる主体制活動への転換 <p>行政 ↑ ↓ 団体</p> <p>協働 → 分業化</p> <p>木育 河川 植物</p> <p>各リーダーによる企画立案、実施、完了を各リーダーインストラクターが実施した (各自がP、D、C、Aのサイクルを回し情報の共有化)</p>					
今後の展開(自立に向けた活動)					
<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の指標に基づいて(事業の目的)の展開を目標とするが ・自主資金の確保するが重要課題 ・幼、保、小中学校又一般市民企業等へアプローチや理解をどう求めるか ・行政内の連携が必要 					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

環境教育 木育



定制品



河川環境学習
(カワケラウイナグ)



PTA母親 木育講座
(西山にて)



希少植物保護保存事業
(オオヤマレンゲ"補植")



(ミナコトシ自然調査)



ふりがな 団体名	このくれきしべんきょうかい		地域名	子野区	地区					
	子野区歴史勉強会		会員数	5	人					
ふりがな 代表者名	はら いつろう		延べ 参加人数 内(会員数)	140 人(70 人)						
	原 逸郎			弘法大師の祭り(20人)及び神明神社の 新嘗祭(50人)に区民も参加いただいた。						
事業名	子野区歴史勉強会									
総事業費 内(補助金額)	40,755 円	(40,000 円)	実施期間	平成 28 年 6 月 1 日から 平成 29 年 2 月 1 日まで						
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	⑩					
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流						
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育						
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他								
事業 内 容	事業の目的									
	1.区民が暮らしている地域の歴史を明確にし、現在の文化を見直すきっかけにする									
	2.子野区の歴史を継承できる冊子作成の準備									
	具体的な活動内容									
	1.子野区の建造物の調査及び、資料の作成									
	2.区内で保有している資料を整理する									
	3.子野区の歴史を冊子にする資料を収集する									
	主な活動の流れ									
	<table border="1"> <tr> <td>4月</td> <td>6月</td> <td>8月</td> <td>10月</td> <td>12月</td> <td>2月</td> </tr> </table>					4月	6月	8月	10月	12月
4月	6月	8月	10月	12月	2月					
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)										
1. 石仏群の調査は、何から始めたら良いかわからなかった										
2.子野村に住み付いた世帯は14世帯と旬行記に記載があるが、世帯名がなかなかわからなかった										
3.シンク寺があったと聞かすが、石碑等があり痕跡はあるがわからなかった										
今後の展開(自立に向けた活動)										
1.冊子にするまとめ方を決め2年以内に作成し子野区世帯に配布する										
2.弘法大師の祭り、神明神社の新嘗祭への宮田(みやでん)等を継承する										
3.子野区にある建造物、石仏の案内を観光客に説明できるようにする										
4.海外の観光客にも説明要員を育てる(学生)										

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

中山道を探索



地図で順路を計画する



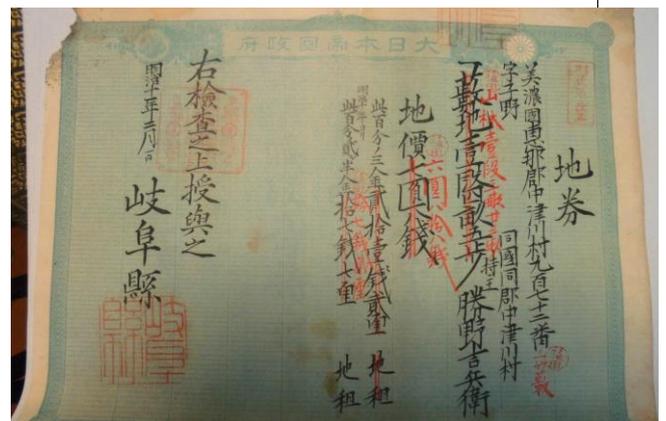
旧中山道を探索

石仏群調査



石仏調査と清掃作業

佐伯さん宅で見つかった地券



平成 28 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	びば なかつがわ		地域名	中津川西東南小校区		地区	
	Viva! 中津川		会員数	17		人	
ふりがな 代表者名	もり しゅんいち		延べ 参加人数 内(会員数)	4,000		人(50 人)	
	森 俊一			Viva! 中津川参加会員数320家族 延べ参加人数 約2000人 まあるいこころ スタッフ42名 延べ活動人数 約2000人			
事業名	NPO法人格 取得事業						
総事業費 内(補助金額)	93,209 円 (50,000 円)		実施期間	平成 28 年 5 月 24 日から 平成 29 年 2 月 13 日まで			
事業 分類	番号	③		活動 分野	番号	① ⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業 内容	事業の目的						
	子育て親育ちのスポーツ少年団と子育て支援団体を基に、乳幼児から高齢者まで、楽しみながら継続的にスポーツや文化活動ができる環境づくりをめざし、地域に根差した「街づくり活動のひとつ」として、平成27年2月に総合型地域スポーツクラブ「Viva! 中津川」を設立しました。「子育て支援」と「生涯スポーツ」と合わせた街づくり活動に、市民の皆さんが安心して参加し、信頼を得て継続的、発展的に事業ができるようNPO法人化を目指します。						
	具体的な活動内容						
	1. 勉強会・研修会の開催 (NPO法人について、役員が理解を深め、広く会員にまで説明ができるようにする。)						
	2. 法人化に伴う事務研修及び、書類作成提出から法人格取得の申請。						
	主な活動の流れ						
		総会	勉強会の開催 申請書類作成 県担当課へ挨拶	会計講座参加 理事会 申請書類作成 会計ソフト導入	理事会	会計講座 設立総会	申請書類提出 申請中 会計講座
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
	3つの団体がそれぞれの活動をしながら、理事会や勉強会を開催する中で、会計を一本化することの難しさを知り、会計の基礎から学ぶことが不可欠であると判断し、NPO法人会計の講座に参加し勉強をすることから始めました。 ぎふNPOセンター、有識者の方に指導をいただき、現状では3団体をまとめるのは困難であり、中津川ビーバースFCの一事業でNPO法人格取得申請をすることに決定しました。県担当課とはメール電話でやりとりをし、2月1日申請書類を提出しました。						
今後の展開(自立に向けた活動)							
3団体それぞれの活動を行いながら、1つの会計ルールを作り、会計の一本化に取り組みます。現在 Viva! 中津川は日本体育協会の自立支援事業の助成を5年間の計画で受けており、平成31年以内にNPO法人設立するのが最良の時期となることから、平成31年までに会計を明確にし、平成31年に子育て支援団体と合体して、NPO法人中津川ビーバースからNPO法人Viva! 中津川へと名称、約款等の変更を行う。							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



NPO法人勉強会 7/16

会計しっかりマスター講座
決算編

「NPO法人の決算処理が難しくなければ、どうしよう…」自分の会社はなんでもやれば決算処理は簡単だわい! そんな思いを裏切るのが「会計しっかりマスター講座決算編」です。決算が心算で済むから、初心者の方まで、安心で学ばせてあげたい。

日時 1日目 2017年 2月 8日(水) 10:00~16:00 (食事提供あり)
2日目 2017年 2月 9日(木) 13:00~18:00
会場 公益財団法人協賛会館 協賛会館4F 404会議室
(岐阜市東島5-14-53)

対象者 基本会計は基礎編・応用編しNPO法人(認定申請中を含む)の会計担当者で、2日とも参加予定の方

内容 NPO法人の会計の状況と決算処理から決算処理、貸借対照表、損益計算、決算処理の実際と会計処理の実際、質疑応答

講師 特定非営利活動法人びんNPOセンター 原 美智子
定員 20名
参加費 8,000円(テキスト代金含む)11歳以下は半額(別途申し込みが必要です)。7歳以下は1/2(2017年2月1日現在)協賛会館のNPO法人(認定申請中を含む)の方(必ず申し込み) (協賛会館) 参加費は無料。申し込みは必ずおこなってください。

持ち物 筆記用具、定額貯蓄簿(前年度の前年度へ提出した金額(現金)計算書、定額貯蓄簿、現金簿、貯蓄簿の印は不要、郵便目録)、テキスト(お持ちのもの、貸与) (1名1冊)

申し込み 定員の申し込み超過をFAXしてください

締切日 2月1日(水)
*必ず定員に合わせた申し込み

【主催】 特定非営利活動法人 びんNPOセンター
〒500-0025 岐阜市東島 5-14-53 びんNPOセンター404会議室
TEL 058-278-8787 FAX 058-278-8802
e-mail: info@npo-center.org
URL: http://npo-center.org/

会計しっかりマスター講座
基礎編 8/9・10
応用編 9/14・15
報告編 2/8・9



親子ふれあいミニ運動会



親子リズム体操



サッカー



集団託児



読み聞かせ